

# 高岡おとぎの森公園魅力向上計画

令和5年2月

高岡市

# 目 次

はじめに	1
高岡おとぎの森魅力向上計画策定の目的	
本計画策定のフロー	
<b>I. 高岡市おとぎの森公園の現状</b>	<b>3</b>
1 施設の概要	3
2 現況	7
3 利用者ニーズの把握	14
4 社会情勢の変化	23
<b>II. 魅力向上のための取り組みの視点と改善すべき課題</b>	<b>26</b>
1 本公園の目指す姿	26
2 特徴（強みと弱み）	28
3 取り組みの視点及び改善すべき課題	29
(1) 更に魅力を伸ばすこと	
(2) 維持していくこと	
(3) 改善を図ること	
(4) 新たな機能を追加すること	
<b>III. 具体的な取り組み</b>	<b>33</b>
1 取り組みの分類	33
2 実施すべき取り組み	34
(1) 施設整備に関すること	
(2) 維持管理運営に関すること	
(3) 利用・活用に関すること	
3 実現化手法の検討	43

## はじめに

### 高岡おとぎの森公園魅力向上計画策定の目的

高岡おとぎの森公園は、本市の南部地区の花と緑の拠点施設として、平成3年に「平成記念こどもの森公園」の選定を受け、21世紀を担う子ども達が自然とふれあうことで創造的に「遊び、学び、交流」を体験できる公園として、平成8年に開催された第13回都市緑化フェアに合わせて整備したものである。

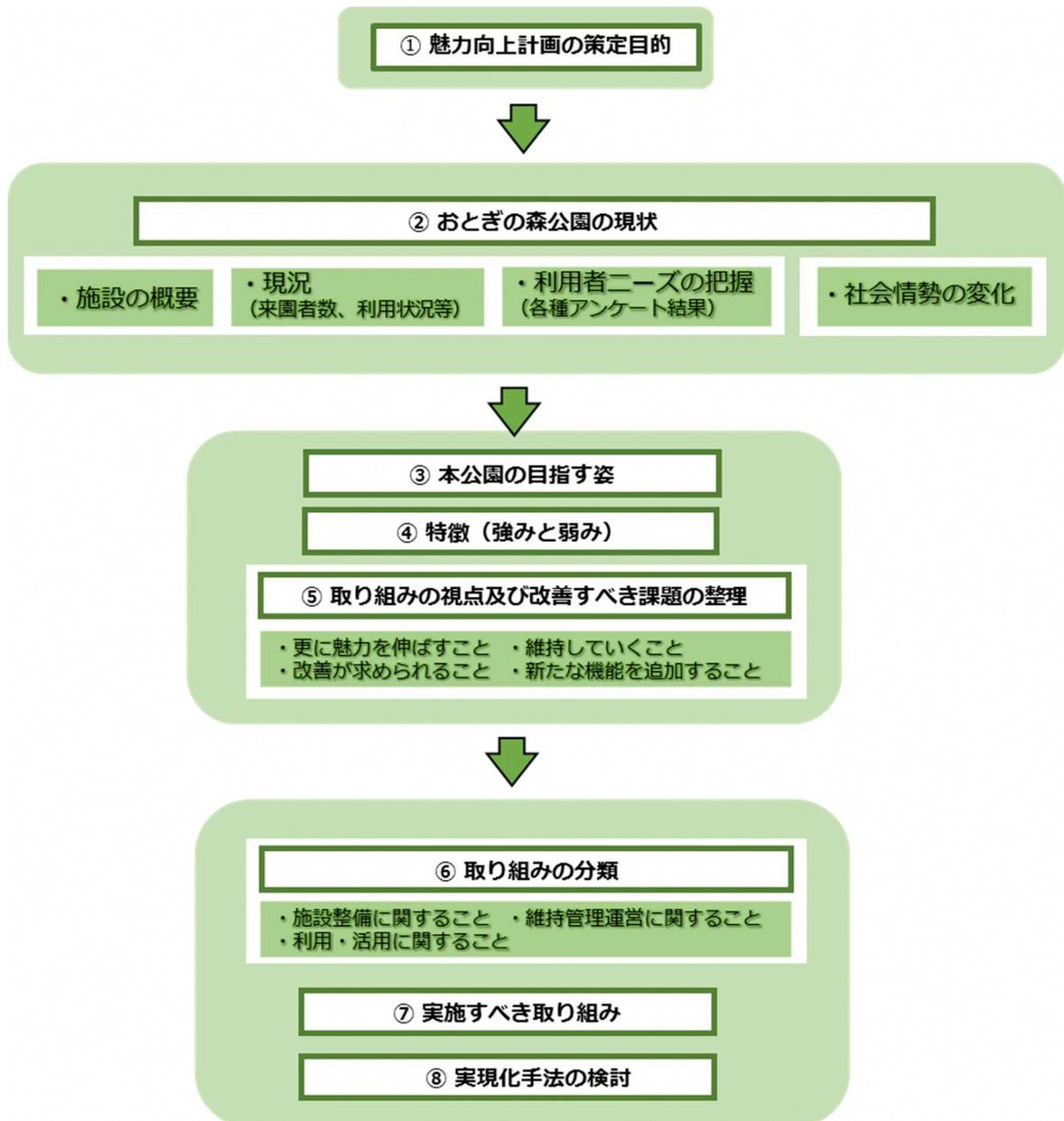
現在、開設から四半世紀が経ち、当時、植えられた木々は大きく育ち、四季折々の緑や花が公園を彩るとともに、中央には千保川が流れ、水と緑を身近に楽しめる公園として、自然を感じながら遊具で遊ぶ子ども達やメルヘンガーデンなどで草花を楽しむお年寄り、芝生で寝ころびながらピクニックを楽しむ親子連れなど、公園が目指す整備方針、コンセプトのとおり、多くの方々に愛される公園となっている。

その一方で、社会情勢の変化や多様化する利用者ニーズへの対応、施設の老朽化、人口減少下における持続可能な維持管理のあり方など、様々な課題に直面している。

このため、本計画は、新たな四半世紀に向け、利用者の利便性や公園の魅力向上を図り、将来においても子ども達の声が響き渡り、市民をはじめ、県内外の多くの方に愛される公園とするため、今後の方向性（あるべき姿）と実施すべき取り組みを検討することを目的として策定するものである。



## 本計画策定のフロー



# I. 高岡市おとぎの森公園の現状

## 1 施設の概要

### (1) 沿革

平成3年9月	「平成記念子供のもり公園」として、全国15箇所の1つとして建設大臣より指定を受ける
平成4年3月	高岡おとぎの森公園（仮称）基本計画概要報告書作成
平成5年12月	高岡おとぎの森公園整備基本構想・基本計画策定
平成6年2月	都市計画決定・事業認可
平成6年3月	造成工事に着手
平成8年7～9月	第13回全国都市緑化とやまフェア開催（メイン会場の1つ）
平成8年10月	一部供用開始（約6ha） ※おとぎの森館、にぎわい広場、メルヘンガーデン、かっぱの広場、お祭り広場、西側駐車場など
平成14年3月	一部供用開始（約8ha） ※おとぎの森広場、記念樹の森（西側未供用部を供用開始）
平成16年3月	全面供用開始（約11ha） ※冒険の森、妖精の広場、こどもの家、東側駐車場など
平成21年6～12月	開町400年特別事業の一環で「ドラえもんなかよしハウス」オープン・ドラえもんの日時計を設置 ※現在は、「おとぎの森なかよしハウス」
平成27年2～3月	おとぎの森館展望台リニューアル（新幹線の見える展望台）
平成30年12月	おとぎの森館1階、2階の一部施設をリニューアル
～平成31年3月	※ふわふわドーム、ボールプールの設置
令和4年4月～12月	おとぎの森館大規模修繕実施 ※外壁、アトリウムガーデン内装修繕
令和4年12月	おとぎの森館2階の一部施設をリニューアル ※キッズルームオープン

## (2) 施設概要

「子ども達の健やかな成長に資する緑豊かな活動の場づくりを目指し、千保川を中心とした親水空間レクリエーション活動やイベントにも対応可能な花と緑に包まれた多機能広場、自然の生態系を遊びながら学べる豊かな森など、これらを含めた園内各施設を有機的に連携させた総合公園とする」ことを基本的な整備方針として、各施設を整備している。

また、本公園は地域防災計画（※<sup>1</sup>）において広域避難場所に指定しており、災害時においても重要な役割をもつ施設である。

※<sup>1</sup>地域防災計画とは、災害対策基本法第40条に基づき、各地方自治体の長が、それぞれの防災会議に諮り、防災のために処理すべき業務などを具体的に定めた計画

公園種別：総合公園 ※都市公園法上の分類

供用面積：約11ha（109,934.59㎡）

うち、芝生広場 約2.8ha 花壇面積 約0.9ha

インフラ・駐車場・園路等 約7.3ha

公園までのアクセス：自動車 高岡駅より車で10分、新高岡駅より車で5分

能越自動車道高岡ICより車で10分

バス 佐野新町バス停前下車、徒歩5分

徒歩 新高岡駅から徒歩約15分

JR 城端線二塚駅から徒歩約20分

主な施設：

広場 等	おとぎの森広場、森のお祭り広場、にぎわい広場、かっぱの広場、メルヘンガーデン
教養施設	おとぎの森館（ふわふわドーム、ボールプール、キッズルーム、展望台等）、なかよしハウス、森のふれあい館（貸館）、こどもの家（コミックコーナー、プレイルーム）
遊戯施設・休憩施設 等	大型複合遊具（大型滑り台・ターザンロープ等）、風の砦、ドラえもんの空き地、ドラえもんの日時計、四阿 など
管理施設 等	倉庫、エネルギー棟、管理事務所（おとぎの森館内） 駐車場 約300台（うち、西側 約120台 東側約180台） など





図1 公園施設及びゾーニング図

### (3) 公園内の河川区域（兼用工作物）について

公園内には富山県が管理する千保川（一級河川小矢部川水系）が流れており、公園の一部は河川区域となっている。左岸に整備されたかっぱの広場は千保川の水辺空間を活かした緩やかな傾斜（大規模な緩傾斜護岸）の親水広場として整備されている。施設については、河川管理者と公園管理者の兼用工作物として協定を結び管理している。

このため、河川区域内の施設の設置については、施設の内容によっては制限される場合がある。



図2 河川区域の範囲

#### 【豆知識】 おとぎの森公園のキャラクターたち

あまり知られていないかもしれませんが、おとぎの森公園には、公園や自然に詳しい個性豊かな仲間がたくさんいます。一部をご紹介します。

おとぎの森公園のいろいろなところで遊んでいるので探してみてください。

**①風の精**

りっぱなシロヒゲをたくわえた風の精は、四季折々の風を運んでくれます。

**②カエル博士**

森の自然について研究しているカエル博士は、おとぎの森公園のことならなんでも知っている物知り博士です。

**③妖精エコ**

妖精エコは、おとぎの森公園の番人です。いたずら好きなトラブルメーカーだけど、実はとてもやさしい妖精です。

**④妖精キーノ**

森の女神に仕える木の妖精キーノはみんなのまとめ役。森の仲間たちから慕われています。

**⑤水の精**

水の精は、音楽が大好き。小川のせせらぎや雨だれの音で、いつも楽しい音楽を奏でています。

## 2 現況

### (1) 来園者数及び利用状況

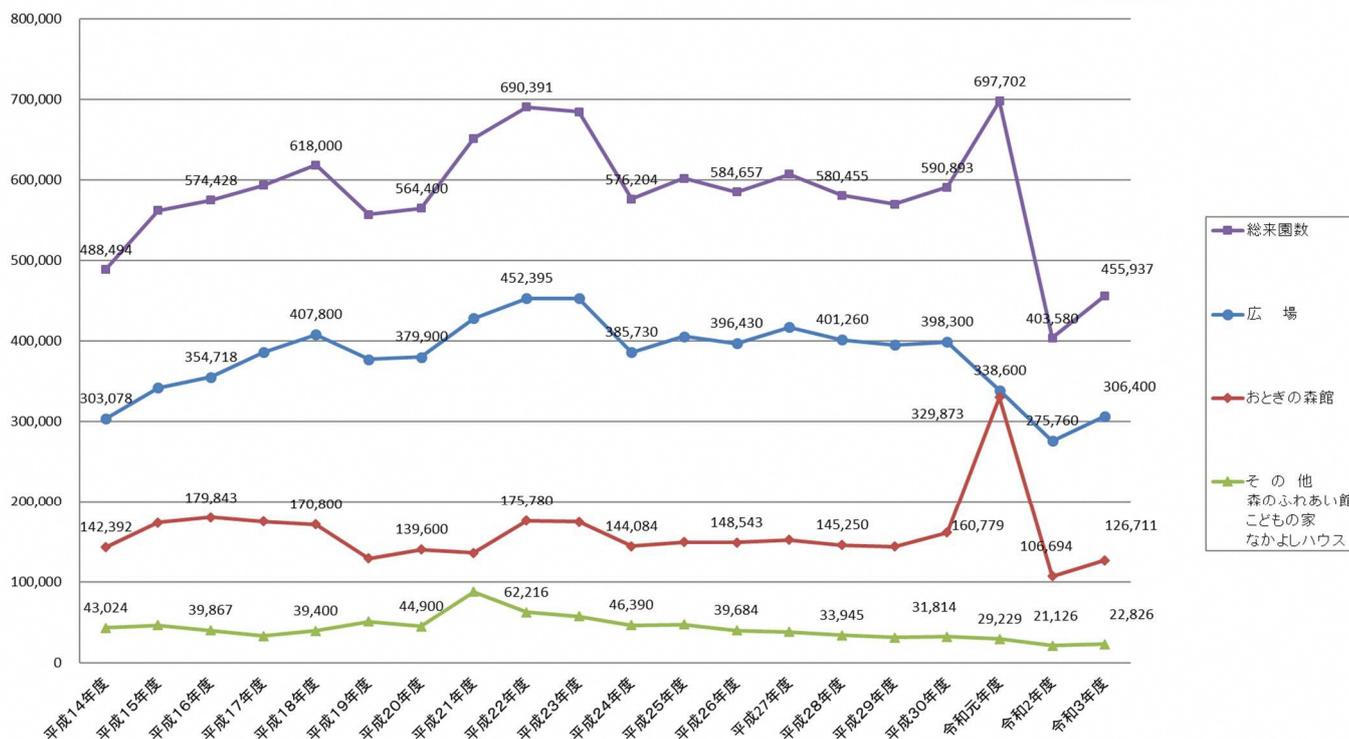
来園者数は、大規模なイベント開催の有無により変動はあるものの、令和元年度までは、年間約 60 万人の来園がある公園であったが、令和 2 年度以降は新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため、来園者数は 40 万台程度となっている。

また、平成 31 年 3 月におとぎ森館のアトリウムガーデンにふわふわドーム（ジャンピン）を設置、スライドシャワーからボールプール（バブリン）にリニューアルしたことにより、おとぎの森館の来館者数が前年度の約 2 倍（H30 年度：160,779 人/年、R1 年度：329,873 人/年）増加しており、公園の来園者数は約 10.7 万人増加している。令和 2 年度以降は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響及び、その予防対策として施設が休館となっていた期間（R2.3～5、R3.8～9）もあるため、整備効果は限定的となった。

一方、なかよしハウス、森のふれあい館、こどもの家の 3 施設については、令和元年度の利用者は 22,299 人/年で平成 21 年度の利用者（87,525 人/年：開町 400 年事業実施）をピークに減少傾向にある。また、おとぎの森館のリニューアルに伴うおとぎの森館の利用者の増加は、これらの施設利用への波及効果は見られず、利用増には繋がっていない。

高岡おとぎの森公園来場者数

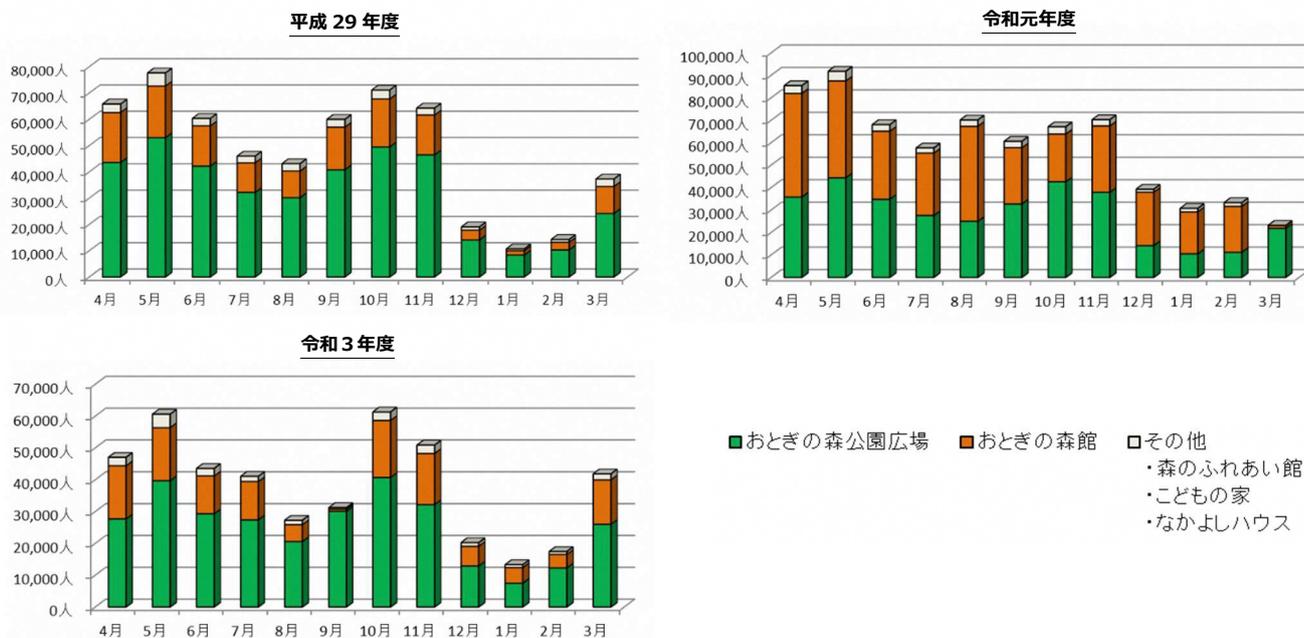
(人)



年間の利用実態として月別利用者数では、気候が温暖で屋外で過ごしやすい春秋の利用者数が多く、続いて夏の利用が多く、冬の利用が最も少ない。

また、利用者の施設別の利用割合は、平成30年度までは、広場利用が全体の約7割を占め、おとぎの森館などの室内施設が約3割（うち、おとぎの森館 約2.5割）であったが、令和元年3月に、前述したとおり、おとぎの森館の施設を一部リニューアルしたことにより、おとぎの森館の利用者が大幅に増加したため、令和元年度は広場利用とおとぎの森館利用でそれぞれ約5割を占めた。また、12～3月にかけてのおとぎの森館の利用者も増加し、冬期の遊び場として活用されるようになってきている。しかし、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、屋外での利用需要の高まりと施設の閉館などの影響により、広場利用の占める割合が高くなっている。

おとぎの森公園エリア・月別利用者数（H29,R1,R3）



利用内容については、おとぎの森広場や森のお祭り広場は日常的に遊具やピクニックなどにより利用されている。また、にぎわい広場では、新型コロナウイルス感染症拡大前は、軽トラガーデン、かっぱの広場では鯉の放流や千保川クルーズの出発点、森のお祭り広場ではこどもまつりなどのイベントで利用されていた。

おとぎの森館のフラワーームや森のふれあい館は貸施設として定期的に利用されており、おとぎの森館では、山野草展示会や花と緑の総合展などのイベントが一年を通して開催されている。

また、団体利用については、県内外の幼稚園や保育園、小学校、老人施設等から遠足な

どの目的で来園しており、令和元年度実績で年間 147 団体、延べ 10,496 人が利用している。市内からの利用が主であるが、石川県からの利用も多くあり、福井県や新潟県などからも訪れている。

■令和元年度 団体利用集計表

		県 外		県 内				合 計	
				高岡市内		高岡市外			
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
通 年	保育園・幼稚園	10	1,606	27	1,330	60	5,439	97	8,375
	小学校	4	266	15	824	13	640	32	1,730
	その他 (老健施設など)	2	60	3	54	13	277	18	391
	合計	16	1,932	45	2,208	86	6,356	147	10,496

このほか、本公園にはドラえもんの空き地や日時計などが設置されており、隣接して、ドラえもんをモチーフとした社屋を持つ企業が立地していることから、これらの施設などを目的に県内外や台湾などの海外からも多く来園している。



なお、令和2年度以降は、行動制限や少人数での利用を余儀なくされており、利用者数は、令和元年度の 1/5 程度、団体数では 1/3 程度に留まっている。

(2) 施設の状態

本公園は、平成5年から平成15年まで整備され、その多くが平成8年に開催された全国都市緑化フェア会場にあわせて整備されたものである。このため、殆どの施設が供用から20年以上経過しており、建物や設備などの老朽化が進んでいる。特に、木部材を使用した施設の老朽化が著しい。

令和2年度に、公園施設の長寿命化を図りながら計画的な維持管理をしていくことを目的に、施設の長寿命化計画を策定した。令和4年度は、森の橋（上部工）やおとぎの森館の外壁工事などの大規模修繕を実施したが、今後も多くの施設で修繕や更新が必要となってくる。また、森のふれあい館やなかよしハウスなど全国都市緑化フェア会場のために整備された施設なども依然として残っており、施設の見直しなどの検討が必要である。

このほか、電気使用量、CO2の低減による環境への配慮、経費の削減などを目的として、令和2年度に照明施設のLED化を実施している。



老朽化した施設一例（木材の腐食・壊れ）

### (3) 管理運営方法及び年間管理費

- 平成 21 年度から指定管理制度を導入し、民間事業者による運営管理を行っている。平成 16 年度までの市直営による管理、平成 20 年度までの施設管理会社による管理に比べ、維持管理費の削減や民間のノウハウ等を活かしたサービスの提供が可能となった。
- 令和 3 年度の年間管理費は約 67,500 千円であった。また、指定管理者の収入は、67,500 千円で、その内訳は指定管理料 62,160 千円、事業収入(貸室使用料、グッズ等手数料)860 千円、③雑収入（自動販売機・売店手数料等）4,440 千円であった。

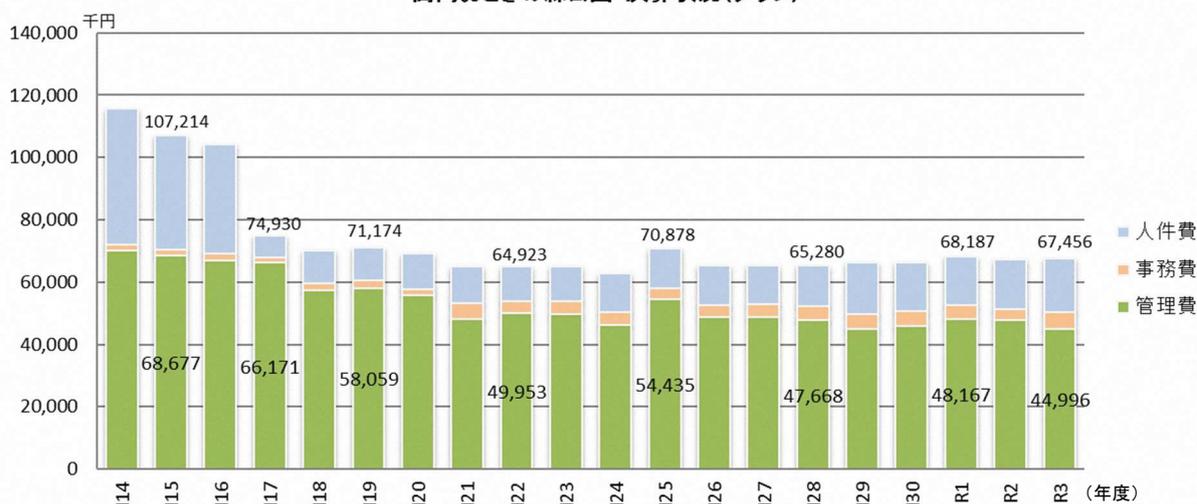
#### ■高岡おとぎの森公園 事業費(H14年度～)

(千円)

年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
管理体制	直営管理			施設管理会社へ管理委託				指定管理制度		
人件費	43,640	36,758	35,176	7,107	10,370	10,682	11,318	11,568	11,040	11,288
事務費	1,894	1,779	2,238	1,652	2,076	2,433	2,076	5,162	3,930	3,964
管理費	70,146	68,677	66,870	66,171	57,528	58,059	55,680	48,231	49,953	49,772
合計	115,680	107,214	104,284	74,931	69,974	71,174	69,074	64,961	64,924	65,024
歳入参考 指定管理料	-	-	-	-	-	-	-	61,050	61,050	61,050

年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
管理体制	指定管理制度									
人件費	12,590	12,872	12,816	12,555	12,966	16,572	15,485	15,443	15,937	17,174
事務費	4,233	3,571	3,958	3,987	4,646	4,811	4,776	4,577	3,628	5,286
管理費	46,114	54,435	48,696	48,809	47,668	44,874	45,918	48,167	47,781	44,996
合計	62,937	70,878	65,471	65,351	65,281	66,257	66,179	68,187	67,346	67,456
歳入参考 指定管理料	58,800	58,800	60,480	60,480	60,480	61,884	61,884	62,559	62,707	62,157

高岡おとぎの森公園 決算状況(グラフ)



- ・指定管理者の自主イベント（令和元年度実績）は、下表のとおり。自主イベントについては、従来から子ども達の知的好奇心を育てることや自然とのふれあいの場の提供などを目的としており、収益目的として実施していないため、基本的に無料（有料ものは材料費）で実施している。特別企画の有料イベントについても、採算がとれるものとして実施していない。

■自主イベント（令和元年度実績）

No	講習名	実施日	料金の有無	参加及び受講者数
1	山野草の寄せ植え作りと育て方	H31.4.14（日）	有料	11名
2	もみ子先生の実験室	H31.4.29（祝・月）	無料	35名
3	第2回バラの講習会	R1.6.23（日）	無料	52名
4	山野草の寄せ植え講習会	R1.7.7（日）	有料 2500円	9名
5	特別企画：ペーパークラフトの世界	R1.7.27(土) ～ 8.18(日)	有料 300～500円	9,631名
6	星空観察会	R1.8.10（土）	無料	220名
7	第3回バラの講習会	R1.8.25（日）	無料	45名
8	山野草のコケ玉講習会	R1.9.8（日）	有料 1000円	15名
9	第4回バラの講習会	R1.12.1（日）	無料	35名
10	もみ子先生の実験教室	R2.1.19(日)	無料	26名
11	ボランティアと市民花壇の合同の集い	R2.2.23（祝・日）	-	36名
計	11講座			10,115名

(4) イベント開催状況

- ・春と秋に開催している花と緑の総合展（バラ、さつき、菊、盆栽、山野草）など、緑や自然に関連したイベントを中心に一年を通して、様々な団体が本公園で自主的なイベントを開催している。ただし、現在は、新型コロナウイルス感染症の影響により市及び指定管理者の主催するイベント以外はあまり開催されていない。
- ・令和元年度のイベントの開催状況は次表のとおり。屋外の各広場では、軽トラガーデンコンテスト（にぎわい広場、高岡土木造園協会主催）やこどもまつり(森のお祭り広場、高岡市児童クラブ連合会主催)、親子謎解きウォーキング（公園全域、NPO法人）、ヨガ教室（森のお祭り広場、個人）、大工さんに出会う日（富山県建築連合会高岡地区）などに利用されている。
- ・このほか、おとぎの森館フラワールーム、森のふれあい館などの貸館では、川柳や手芸、押し花、太鼓、各種会合などの市民活動の場として利用されている。

■令和元年度 イベント開催状況 ※指定管理者の自主イベントを含む

月	行 事
4月	雄神盆草展（雄神盆草会）、山野草展（かたかご会）、山野草講演会 もみ子先生の実験教室、千保川・さくら・クルーズ[出航場所]（千保川クルーズ実行委員会）
5月	雄神盆草展（雄神盆草会）、花と緑の総合展「春のバラ展」、軽トラガーデンコンテスト（高岡土木造園協会主催）、鯉の放流（千保川をきれいにする会）
6月	花と緑の総合展「さつき展」、菊苗無償配布、花と緑の総合展「春季山野草展」 雄神盆草展（雄神盆草会）、第2回バラ講習会、遅咲きウチョウラン展
7月	山野草展（かたかご会）、山野草寄せ植え講習会、雄神盆草展（雄神盆草会） ペーパークラフトの世界（7/27～8/18）
8月	ペーパークラフトの世界（7/27～8/18）、星空観望会（富山県天文学会） 第3回バラ講習会、大工さんに出会う日（富山県建築組合連合会）
9月	山野草展（かたかご会）、コケ玉講習会、雄神盆草展（雄神盆草会）、万年青展 市民花壇コンクール
10月	雄神盆草展（雄神盆草会）、花と緑の総合展「秋の山野草展」 花と緑の総合展「秋のバラ展」
11月	花と緑の総合展「高岡菊花大会」、花と緑の総合展「秋の盆栽展」 高岡こどもまつり（高岡市児童クラブ連合会）
12月	第4回バラ講習会、早咲き高岡つばき展（高岡つばき愛好会）
1月	もみ子先生の実験教室
2月	梅花展（高岡盆栽愛好会）
3月	高岡つばき展（高岡つばき愛好会）、もみ子先生の実験教室、第1回バラ講習会 雄神盆草展（雄神盆草会）

(5) ボランティア団体の活動

本市では、毎年4月に「市民と市政」で「花と緑のボランティア」や「市民花壇」の参加者を募集している。主におとぎの森公園内の花壇の世話（除草、花の植込みなど）をしていただいている。このほか、ハーブ園作り及び世話もボランティアの方々のご協力により実施している。また、地元住民や企業なども園内の清掃活動などに取り組んでいただいている。しかし、ボランティア参加者は、年々、減少傾向にある。

■ボランティアの参加状況

年度		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
参加者数 (人)	花と緑の ボランティア	190	169	176	142	100	113	中止	108
	市民花壇	50	45	70	50	60	39		53
	その他	148	240	197	188	50	85		38
合計		388	454	443	380	210	237		199

(6) 駐車場利用状況

公園の駐車場は、公園の北側道路に面して西側と東側にそれぞれ 150 台収容の駐車場が設置されている。

過去 4 力年（平成 30 年度～令和 3 年度）における満車状況は、平均 28 日／年、多い年で年間 37 日、満車となる日があった。平日に満車となることはなく、満車日はいずれも土日・祝日であり、特に屋外で過ごしやすい 4～6 月、9～11 月に多く、その中でも 5 月と 10 月は、ほぼ毎週末満車の状況にある。

■駐車場の満車状況（過去 4 力年：H30 年度～R 3 年度）

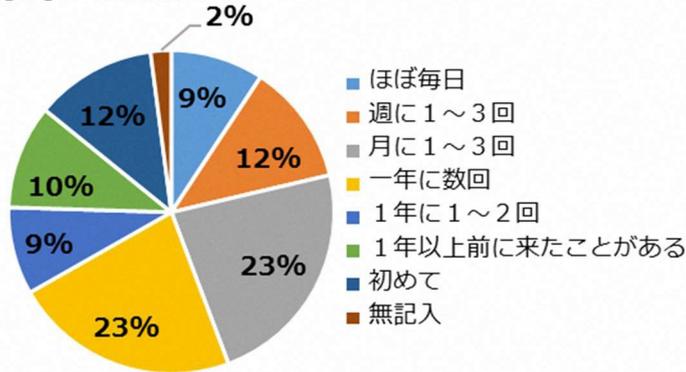
2018年(H30)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
満車日	1(日) 21(土) 22(日) 28(土) 29(日) 30(月・祝)	5(土・祝) 6(日) 19(土) 20(日) 27(日)	2(土) 3(日) 9(土) 10(日) 16(土) 17(日) 24(日)	1(日) 8(日)		2(日) 16(日) 22(土) 23(日)	6(土) 8(月・祝) 13(土) 14(日) 20(土) 21(日)	3(土・祝) 4(日) 11(日) 18(日) 25(日)	2(日)				9(土)	
回数	6	5	7	2	0	4	6	5	1	0	0	1	37	
2019年(H31)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
満車日 ※コロナで 3/3-3/31休館	13(土) 28(土) 29(月・祝)	2(木・祝) 3(金・祝) 4(土・祝) 5(日・祝) 19(日) 26(日)	1(土) 2(日) 23(日)	15(月・祝)		1(日) 8(日) 15(日)	5(土) 13(日) 20(日) 22(火・祝)	3(日・祝) 10(日) 23(土)	1(日)				3/3-31 屋内施設閉 館	
回数	3	6	3	1	0	3	4	3	1	0	0	0	24	
2020年(R2)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
満車日 ※コロナで 4/1-5/31休館	屋内施設閉 館	屋内施設閉 館 24(日) 31(日)	7(日) 21(日)	19(日)		19(土) 20(日) 21(月・祝) 22(火・祝)	3(土) 4(日) 11(日) 18(日) 25(日) 31(土)	1(日) 8(日) 15(日) 22(日)			14(日) 21(日) 28(日)	20(土) 27(土)		
回数	0	2	2	1	0	4	6	4	0	0	3	2	24	
2021年(R3)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
満車日 ※コロナで 8/18-9/26休館	3(土) 10(日) 11(日)	3(月・祝) 4(火・祝) 15(土) 23(日) 30(日)	5(土) 6(日) 20(日)		8/18-屋 内施設閉館	~9/26屋 内施設閉館 19(日) 20(月・祝) 23(木・祝)	2(土) 3(日) 9(土) 10(日) 16(土) 24(日) 30(土) 31(日)	6(土) 7(日) 21(日) 28(日)					12(土) 27(日)	
回数	3	5	3	0	0	3	8	4	0	0	0	2	28	
月別平均 (4 力年)	3	4.50	3.75	1	0	3.50	6	4	0.50	0	0.75	1.25	28.25	
月別平均 (3 力年) R2除く	4	5.33	4.33	1	0	3.33	6	4	0.67	0	0	1	29.67	

### 3 利用者ニーズの把握

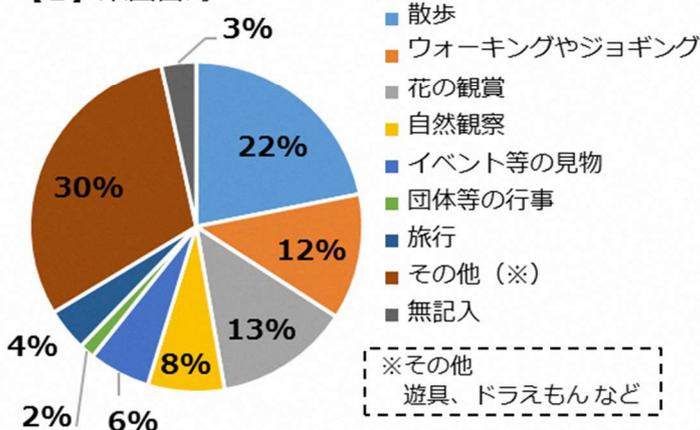
#### (1) 指定管理者が実施するアンケート

本公園の指定管理者がおとぎの森館に設置したアンケート過去5カ年〔H29年度～R3年度〕、アンケート数：779名

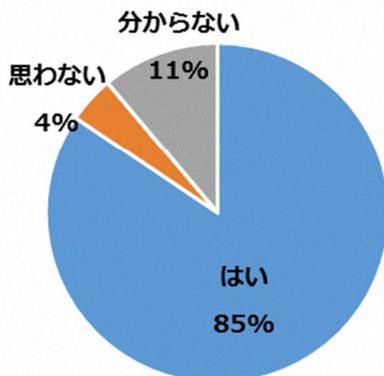
【1】来園頻度



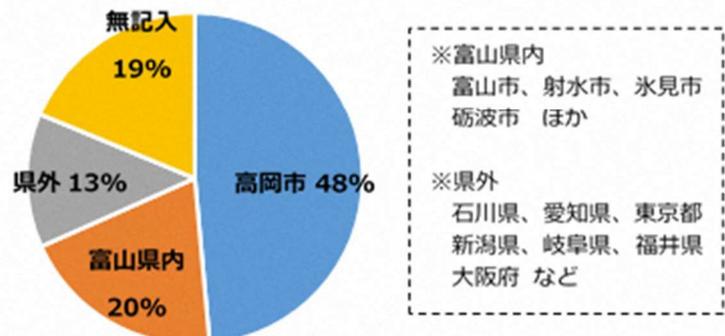
【2】来園目的



【3】また来園したいか



【4】来園者の住まい



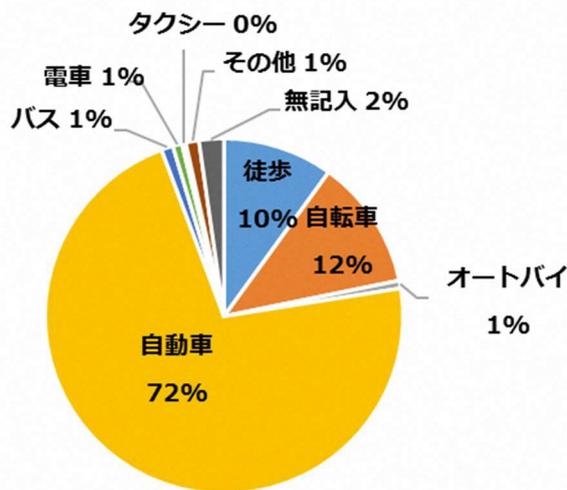
回答者のうち、月に1日以上来園すると答えた方は、4割超え、頻度はそれほどではないが過去に来園したことがあると答えた方は約4割、初めての方は約1割であり、多くがリピーターという結果であった。

来園目的は、散歩やジョギングが約3割超え、花や自然観賞が約2割、イベントや団体行事などで訪れた方が約1割弱、その他が3割でこの多くは遊具などの利用目的の方であった。

来園者の多くが再来園の意向を持っており、ある程度の評価を得ていると考えられる。

来園者は市内が約5割、県内が2割、県外が1割程度であり、市内のみならず県内外から来園いただいている。

#### 【5】交通手段



交通手段は、自動車が約7割を占め、徒歩と自転車がそれぞれ約1割、それ以外が約1割弱となっている。

自由意見の主なものを下記に抜粋した。肯定される点として、自然に関すること、特にバラ園を高く評価する声や遊具が多く子どもが楽しめる公園であるとの意見が多かった。

否定または、不足している点には、施設の老朽化に関すること（修繕や更新）や、飲食ができるカフェなど施設を求め

る意見のほか、日陰で休める場所（休憩施設）、駐車場の拡充、トイレの充実、更なる遊具の充実などを希望する意見が多くあった。公園に対する高い評価から「もっとPRした方が良い」、「有料化などを検討しては」などの意見もあった。

#### 【自由意見(主なもの抜粋)】

##### ◆肯定される点

- ・公園が広く、きれいな公園だった。自然に癒される。 ・バラ園がきれいで素晴らしい。
- ・遊具がたくさんあり、とても楽しい。子どもも喜んでいて良い公園だと思った。
- ・室内にふわふわドームなどの遊具ができてよかった。ボールプールは6歳未満の子どもが楽しく遊べるので良かった。
- ・冬にイルミネーションがあっても素敵だ。 ・売店にテントが設置され、休憩しやすくなった。

##### ◆否定される点

- ・施設の老朽化が残念、リニューアルして欲しい。(おとぎの森館地下展示施設に対する意見が多い)
- ・舗装がガタガタだったり、舗装されていない園路が多く、ベビーカーで歩きにくい。
- ・日陰が少ない。 ・屋内は冷房が効いていない。暑くて長くいられない。
- ・駐車場が少ない。 ・他県より来客を連れてくるが、買うものがない。
- ・犬の散歩をしている人のマナーが悪い。糞があり芝生が不衛生。

##### ◆不足している点、その他意見

- ・飲食店、カフェなどが欲しい。ランチが買える場所があると良い。
- ・遊具を増やしてほしい。アスレチック、健康器具を設置してほしい。
- ・0歳でも遊べるところが欲しい。 ・駐車場を増やして欲しい。
- ・トイレの充実（特に子ども用トイレや手洗い、おむつ交換や授乳する場所などの設置）
- ・もっといろいろなイベントがあればいい。(子ども向けのイベント、フリーマーケットなど)
- ・日陰があると良い ・看板等で公園があることをわかりやすくアピールした方がいい。
- ・無料で驚いた。有料にしてはどうか。 ・旅行客に接遇のある売店が欲しい。

## (2) 市内保育園・幼稚園を対象にしたアンケート

H29年度市内の保育園・幼稚園等へのアンケート及び子育て世代市職員への意見徴収

アンケート実施日：平成29年11月22日～12月8日（約50施設を対象に実施）

意見徴収実施日：平成29年11月9日（参加者15名）

### ◆肯定される点（好きなところ、良いところは何ですか）

- ・公園が広く、広場空間が十分な広さが確保されている。 ・子どもから高齢者まで楽しめる。
- ・花壇がたくさんあり、緑も多く川もながれており、四季や自然を感じることができる。
- ・バラ園がきれい。 ・ドラえもんのもニュメントが良い。 ・大型遊具が充実している。
- ・雨の日でも過ごせるスペース(おとぎの森館など)がある。 ・カスケードで水遊びができる。
- ・柵がなく、開放感があり、のびのびできる。 ・子ども達に人気で遠足に利用できる。
- ・子どもの年齢に合わせた遊びができる。低年齢対象の遊具がある。
- ・トイレなどの施設について、清潔で安心して遊ばせることができる。
- ・おとぎの森館に授乳スペースがあるのは助かる。
- ・ドラえもん広場でキャラクターと写真を撮れるのがうれしい。

### ◆否定される点（嫌いなところ、悪いところは何ですか？）

- ・幼児用トイレ、洋式トイレが少ない。〔H30 おとぎの森館和式トイレを一部幼児用トイレへ変更〕
- ・トイレが暗い。換気が悪くジメジメしている。 ・日陰が少ない（休憩場所がない）。
- ・屋外の一部の遊具やおとぎの森館の地下展示施設が老朽化、マンネリ化している。
- ・駐車場が狭い。 ・犬を連れている方が多く、マナーが徹底されていない。
- ・物販、飲食の施設が少ない。 ・小さな子どもを連れて移動するには広い。
- ・おとぎの森館が暑い。 ・舗装がぼこぼこで危ない。
- ・どこに何があるのか、何ができるのかわからない。 ・PRされていない。

### ◆不足している点、その他意見（必要と思われることは何ですか？）

- ・おとぎの森館やこどもの家の有効活用、施設の充実〔H31.3 おとぎの森館一部リニューアル、H30.12 こどもの家にキッズコーナー、マンガ本を設置〕 ・駐車場を増やしてほしい。
- ・園内にテーマをもったエリアがいくつかあると良い（香り、光と影、虫や鳥などの観察 など）
- ・日陰、ベンチがもっとほしい。 ・園児がまとまって弁当を食べられるような木陰がほしい。
- ・屋外トイレにも幼児、子ども用のトイレを増やし、もう少し明るくしてほしい。
- ・おむつ交換しやすいトイレの設置 ・遠足時の荷物置き場があると良い。
- ・夏場は噴水があると良い。 ・集客できるイベントがあると良い。
- ・展示会は緑化に関するものが多く、カブトムシ展など子どもが楽しめる企画が少ない。
- ・季節ごとのイベントなどを開催すると良い。
- ・犬も苦手な人もいるので、犬を連れた人向けの専用スペースを作ってほしい。〔R3.7 設置〕
- ・ドックランできるところがほしい。 ・0～1歳児の遊べる場所があると良い。
- ・園内が広いので、電動自転車など子どもを乗せられる自転車があると良い。
- ・子連れでランチができるカフェがほしい（子どもメニューやくつを脱いで入れるところ）。
- ・アスレチックなど自然を使った遊具があると良い。そり遊びができる小さい山があるといい。
- ・わかりやすいところに施設等の案内看板がほしい。

## (3) 施設利用者アンケート

おとぎの森館及び周辺で利用者にアンケートを配布

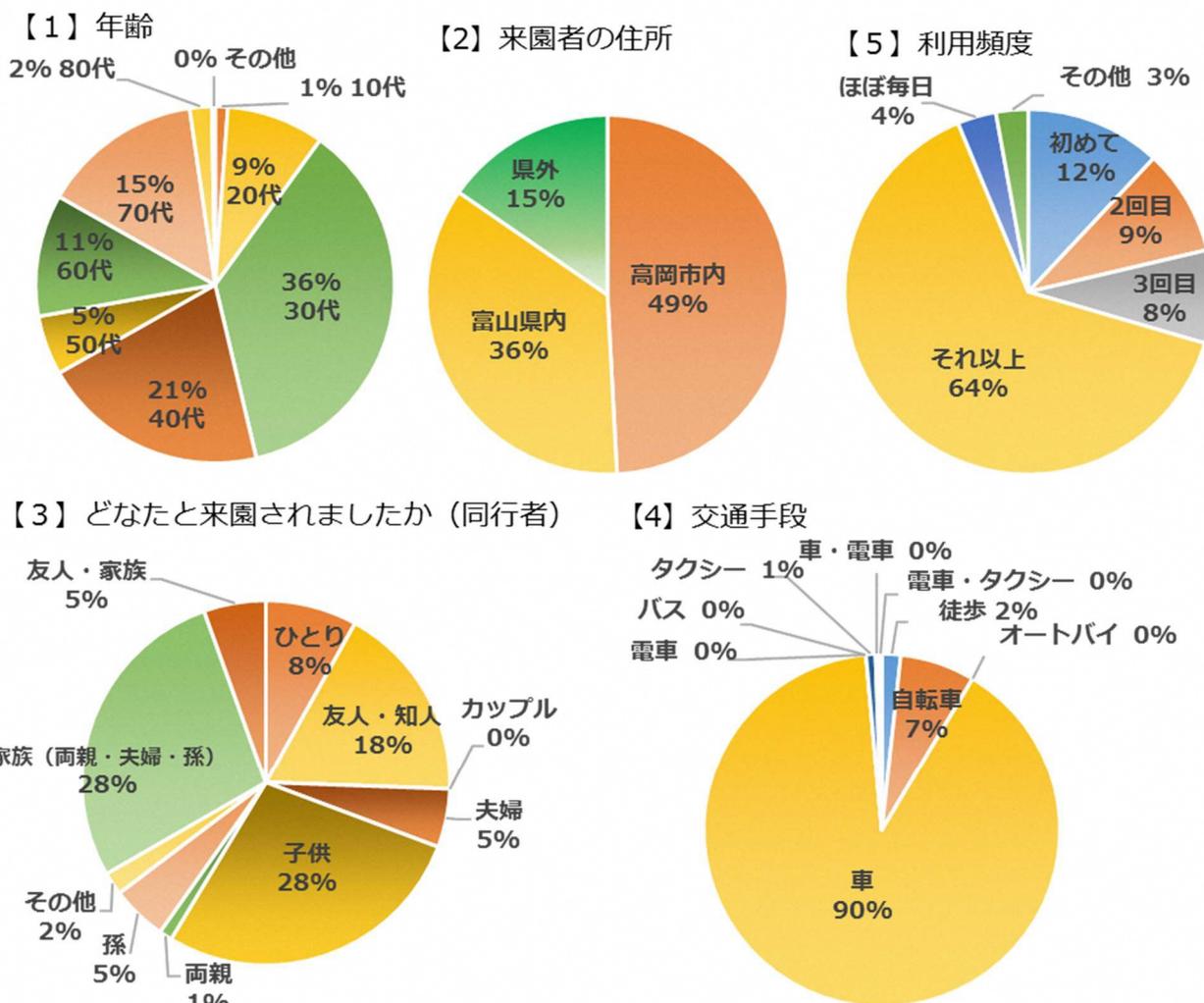
アンケート実施日：令和2年10月28日～11月18日 アンケート数：352件

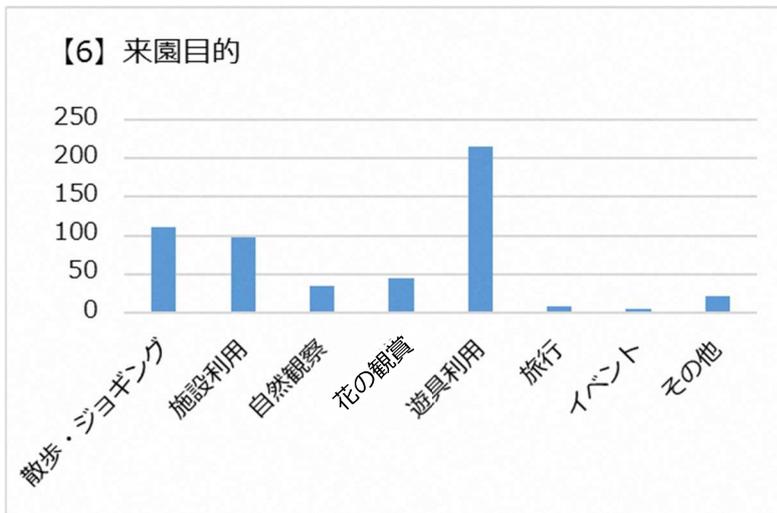
来園者の年齢は、30～40代の子育て世代が全体の半分を占め最も多く、次いで、60～70代の高齢者が約4割弱を占めている。なお、アンケートは、主に中学生以上の方を対象に実施していることから、アンケート結果には反映されていないが、実際は、小学生以下の子ども達も親同伴で多く来園している。来園者の住所をみると、約5割強が市内、4割弱が高岡市以外の県内、それ以外は県外となっており、市民のみならず、県内外からも来園いただいていることがわかる。

同伴者は、多くが親子連れ、家族連れ（3世代、祖父母・孫）となっている。交通手段は9割が車でほとんどを占めている。

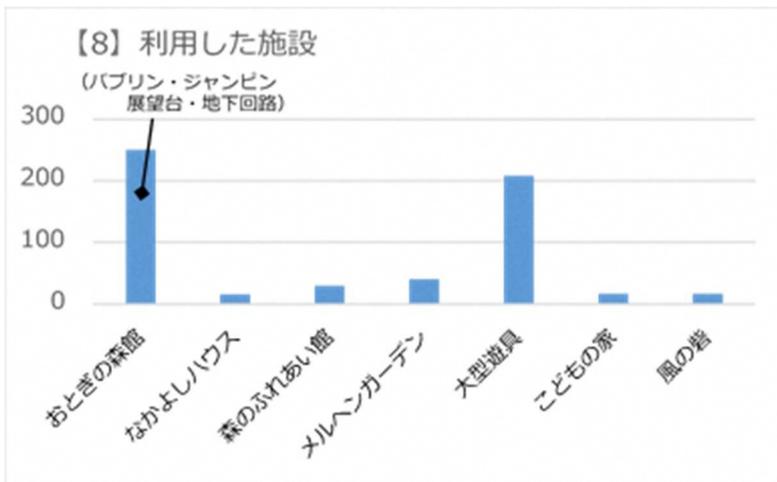
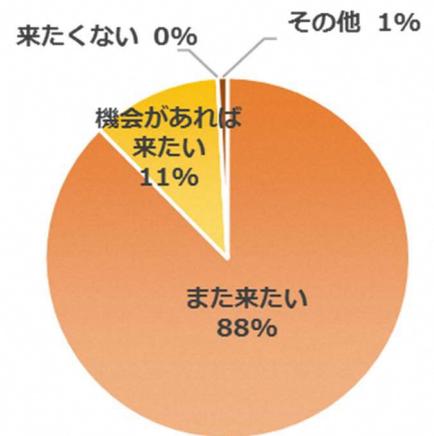
利用頻度は、初めてが1割程度で、2～3回目は約2割弱、4回以上、ほぼ毎日利用していると回答した方が、約7割で多くがリピーターであった。

来園の目的は、遊具利用が圧倒的に多く、次いで、散歩やジョギング、施設利用であり、実際に利用した施設は、おとぎの森館（室内遊具目的）と大型遊具であり、主として、子育て世代が子どもと一緒に遊具の利用のため来園いただいていることがわかる。





### 【7】再来園意向

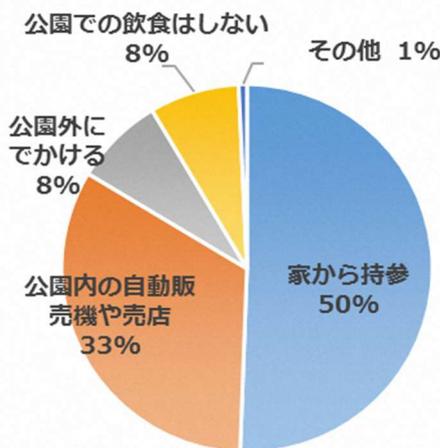


また、再来園の意向については、ほとんどの方が「また来たい」と回答いただいている。

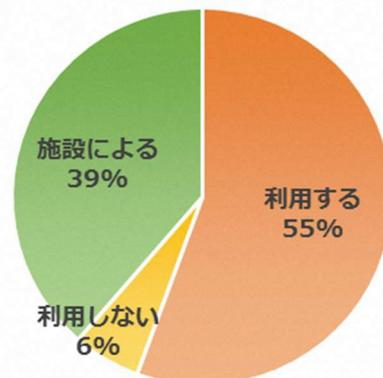
一方、利用しなかった施設の理由については、「遊具目的だった」「時間がなかった」「コロナ禍で屋内施設は避けた」などのほか、「施設の存在自体を知らない」「興味がない」と答えた方も多くいた。

滞在中の飲食については、持参が半数を占め、園内の自動販売機や売店を利用が約3割で、飲食店があれば「利用する」と答えた方が半数以上、その以外も「施設によって判断する」と答えており、昼食等をとる飲食施設のニーズが高いことが伺える。

### 【9】滞在中の飲食



### 【10】飲食店があれば利用しますか



飲食施設に求めることについては、圧倒的に「子ども」に配慮した施設（メニュー、トイレ、テーブル・椅子、ベビーキッズスペース、イベントなど）を求める意見が多く、このほか、良い景色や誰もがゆっくりくつろげる空間などの意見もあった。

**◆飲食の提供以外に飲食施設に求めることはありますか。**

- ・目の前で子どもを遊ばせながら利用できる、ベビーキッズスペース有。
- ・0歳児も遊べる場所 ・子どもでも気軽に安心して利用できる場、子連れにやさしい場所。
- ・子ども用の椅子、テーブルやトイレ等もあってゆっくりくつろげる、開放的でおしゃれな空間。
- ・子どもが使いやすいよう手洗い場を低く、手拭きも紙などであれば手ぶらでお出かけできる。
- ・自由度が高い。子どもが遊びながら利用できたり、買ったものも持ってきたものも飲食できる。
- ・子どもが美味しいもの、豊富に子どものメニューがあること、離乳食がある。
- ・子どもの喜ぶドラえもんのお弁当などがあると良い。 ・子どものイベントがある。
- ・待ち時間を退屈させない工夫が必要。 ・親子、孫でゆっくりできる。くつろげる。
- ・子どもとお年寄りにもやさしい。障害のある方すべての方に配慮した施設。
- ・公園をながめる雰囲気、自然を見ながらぼーっとゆっくりくつろげる、良い景色が眺められる。
- ・おいしい、ボリュームある料理。 ・屋根のある椅子、ベンチ、テーブル等（オープンテラス）
- ・広いスペース、トイレがきれい。 ・写真映え ・かわいいフードやドリンクがある。
- ・リーズナブルなメニューある。 ・コロナ対策がされている。
- ・テイクアウトできる。あまり待たずに購入でき、すぐに食べれる。 ・音楽が流れている。
- ・小さすぎず大きすぎずプライベート空間がある。 ・楽しくおしゃべりできる。

このほか、「イベントに参加したことがあるか」の問いに対しては、過半数が「参加したことがない」と答えており、約3割は「知らない」と答えている。

希望するイベントにおいても、子ども達に参加できるイベントを望む意見が多かったほか、緑やアウトドアなどに関するものもあった。

**◆どのようなイベントがあれば参加したいですか。**

- ・子ども達が喜ぶ、楽しめるもの、子ども向けのイベント、子どもが体を動かせるイベント
- ・体育教室のような走り方を教えたり、クローバーで花冠を作るなどの教室
- ・未就学児でも参加できるイベント、乳幼児～小学生を対象としたイベント（各シーズンに1回）
- ・子どもが参加するワークショップ、草木をつかった手作りおもちゃ、制作物、子どもができるクラフト（木、レジン等）、どんぐり工作、スライム作り ・モノづくり
- ・ドラえもんショー、アンパンマンショー、キャラクターショー
- ・コンサート、青空コンサート、屋外ライブなど ・子どもが参加できる、音楽イベント
- ・イルミネーション ・写真展 ・花苗、花木の販売 ・品評会（バラ・菊など）
- ・食の祭、食べ物のイベント ・アウトドア用品展示会 ・ホテル狩り など

また、公園の肯定される点としては、豊かな自然と豊富な遊具に対する意見が多く、否定又は不足している点としては、「老朽した施設の更新（特にトイレや遊具など）」「駐車場の充実」、「未就学児から小学生まで利用できる遊具の充実（アスレチック、ボルダリングなど）」、「日陰のある休憩施設」、「広く、子連れなども使いやすいトイレへの更新」、「（子どもも大人も）ゆっくりくつろげる飲食店」、「施設案内の看板設置」、「施設やイベントのPR」など様々な意見があった。

#### ◆肯定される点（好きなところ、良いところは何ですか）

- ・広い、開放感がある。公園全体が見渡せる。 ・ふわふわドームがある、大きな滑り台が良い。
- ・大小さまざまな遊具があり、芝や水遊びが出来る。屋外でも屋内でも遊べる。
- ・夏の水遊びは子どもに丁度良い、安心して試みられる。
- ・ベンチも多くのんびり子どもの様子が見渡せる、休憩スペースが多い。
- ・四季折々の花々など（バラ、植物、色々な木々）、芝生広場、バラ園が良い。 ・芝がきれい
- ・散歩しやすい（自然豊かでのんびり自分に合った散歩ができる、散策コースにとっても良い）
- ・緑や川など自然が豊か、自然と触れ合える。 ・居心地がいい、空気が美味しい。
- ・色々な年齢層が楽しめる（幼児なら室内、小学生からは外で遊べたり、大人なら散歩など、一時ではなく何歳でも遊びにこれる）
- ・子どもが飽きずにのびのび遊べる、小さい子どもでも安心して遊びやすい、楽しめる（2歳児でも遊べる小さめの滑り台がいくつかある）。
- ・いつもきれいでゴミがない。 ・バラをはじめ、草花の手入れが行き届いている
- ・静かでのんびりできる、癒される。 ・色々な施設があり、天候に関係なく楽しめる。
- ・無料で利用できるところ。 ・ドラえもんがいる。
- ・色々な遊びができる。子ども用トイレがある。

#### ◆否定される点（嫌いなところ、悪いところは何ですか？）

- ・駐車場（土日）に止めれない、駐車場が少ない。
- ・日陰が少ない、夏の日差しが強い、夏に(もっと)日陰があればいい。
- ・屋外トイレは汚れやすいのできれいにしたい(きれいじゃない、狭い、中が古くてこわい)。 ・幼児用のトイレが少ない、ベビー用のトイレがない。和式が多い。
- ・イスやテーブルに苔が生えている、キレイじゃない(古い) ・施設が古い。
- ・カフェがない、飲食施設がない。 ・飲食スペースが少ない。
- ・ゆっくり休める休憩施設が少ない。 ・芝生はベビーカーが押しにくい。
- ・0歳児が遊べる場所がない。赤ちゃん向けの場所が少ない。
- ・大きな犬が芝生の中にたまに居る(犬のふん)。 ・どこにどんな施設があるかわかりにくい。
- ・晴れた日は良いが雨の日だと遊べる場所が少ない。 ・遊び場に人が集中しすぎる。
- ・障害者用の駐車場が遠い。

#### ◆不足している点、その他意見（必要と思われることは何ですか？）

- ・大人たちが休める空間、イス・机を増やす、日陰の場所を作る、木陰がもう少しあれば良い。
- ・保護者が座って子どもを見てもらえる場所の充実 ・屋根付きベンチが欲しい。
- ・冬期でも公園を眺めながら休める場所があると良い。 ・手洗い場を充実して欲しい。
- ・もっと駐車場が多いと良い。 ・駐車場の整理員の数を増やしてほしい。
- ・公園内でのみ乗れる自転車があると良い。 ・ベンチを(もっと)多く欲しい。
- ・カフェなど飲食ができる空間があれば良い、くつろげてお茶ができる場所が欲しい。
- ・大人が利用できるカフェが欲しい。 ・子どもの着替えができるスペースが欲しい。
- ・小さい子が遊べる遊具が増えると良い。 ・屋内、屋外の遊具をもっと増やして欲しい。
- ・高学年でも遊べるような室内大型遊具、室内アスレチックがあると良い。
- ・子どもが折り紙やお絵描きなど、常時できるスペースがあると良い。
- ・ボルダリング(子ども)等冬でも利用可の子どもの施設の充実。
- ・もっとイベントがあると良い、祭りのようなものがあると良い。自然と触れ合えるイベントなど。
- ・トイレはもっと広々とした子どもと親で入れるサイズのもの欲しい、子ども連れが使いやすいトイレに新しくして欲しい。 ・水遊び場近くにシャワーがあると嬉しい。
- ・どこにどんな施設があるかわかりにくいいため、案内看板の設置してほしい。
- ・公園のPRをもっとした方が良い。 ・イベントの周知をもっとした方が良い。
- ・BBQができる所があると良い、有料でもいいのでバーベキュー場があれば良い。
- ・wi-fi設備の充実。 ・赤ちゃん向けの広場が欲しい。 ・噴水広場が欲しい。
- ・おとぎの森だよりがあると良い。 ・散歩コースにエネルギーマーカーがあると良い。
- ・もっと地域密着にした方が良い。
- ・広い面積を活かした回遊できる公園づくり。

(4) 高岡市グリーンプラン策定時の市民アンケート〔おとぎの森公園関連のみ抜粋〕

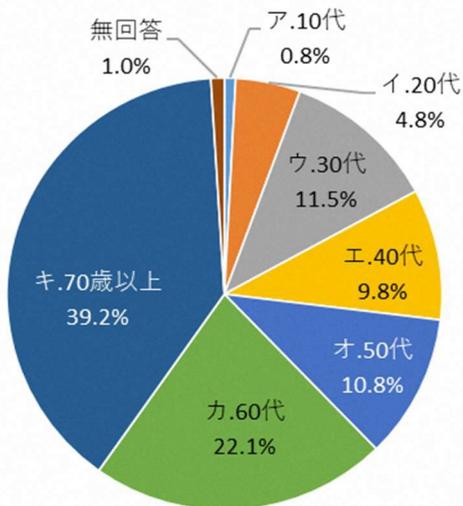
連合自治会長及びグリーンキーパーにアンケートを郵送（261件）

市民（一般）に対しては、各支所・景観みどり課に受付箱（回答：8件）を設置するとともに、WEB（回答：333件）によるアンケート調査を行った。

アンケート実施日：令和3年11月1日～11月14日 アンケート総数：602件

アンケートは、全ての世代に回答いただいているが、連合自治会長やグリーンキーパーの方々にも依頼させていただいたことから、60代以上の方が多く。お住まいの地域は、市内の様々な地域の方に回答いただいた。

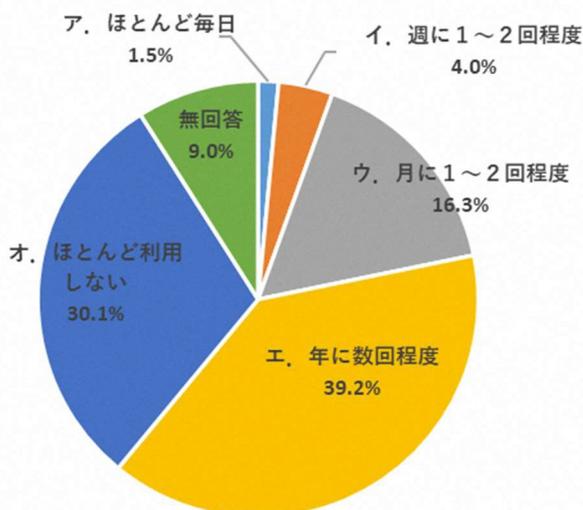
【1】 年齢



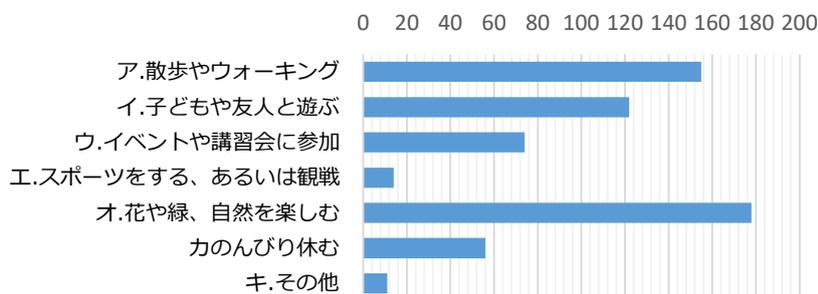
【2】 お住まいの地域（小学校区）



【3】 「おとぎの森公園」の利用頻度は



【4】高岡おとぎの森公園の利用目的は  
（【3】の設問で「ア～エ」を回答した方のみ）



おとぎの森公園を「月に1～2回以上利用する」と答えた方は約2割、「年に数回程度」は約4割、「ほとんど利用しない」と回答した方が約3割であった。

利用目的は、「花や緑、自然を楽しむ」が最も多く、次いで「散歩やウォーキン

グ」、「子どもや友人と遊ぶ」、「イベントや講習会に参加」などが続いた。

このほか、自由回答にあったおとぎの森公園に関する意見は、以下のとおり。

◆肯定される点（好きなところ、良いところ）

- ・お花がいつも綺麗で癒される。 ・素晴らしい公園で、毎日散歩している。
- ・駐車場があり、季節の花々が咲き乱れる「おとぎの森」は利用しやすい。
- ・空が見える広い公園は、休憩するのに本当に貴重。 ・子どもが走り回れる。
- ・子育て世帯にとって、少ない市内の子どもの遊び場として、とても大切な公園。

◆否定される点（嫌いなところ、悪いところ）

- ・駐車場が少ない。公共交通でのアクセスが難しく、GWなどは近くに路上駐車が目立つと聞く。
- ・車以外では、行きづらい。 ・屋外トイレが暗くて、汚い。
- ・施設の老朽化や、壊れても直してなくて詫びしい。

◆不足している点、その他意見（必要と思われることなど）

- ・おとぎの森公園にタリーズやスタバのようなコーヒーが飲めるオシャレなカフェがほしい。
- ・手を上げすぎることなく、公平感を持って古城公園やおとぎの森などいくつかの核となる公園の維持、管理に集中投資(トイレの洋式化など含め)して、さらなる市民に愛される公園整備に努めていただきたい。 ・駐車場を増やして欲しい。駐車場の確保。
- ・老朽化した施設の再整備や維持管理をきちんとしてほしい。
- ・イベントなどがあれば、わかりやすく伝えてほしい。
- ・マナーの周知、混雑状況を発信してほしい。 ・バラや花の情報を発信してほしい。
- ・公園は無料で利用できるが、施設をよりよく維持していくためなら、少くくは負担するので、駐車場や自販機、施設利用料など、有料の考え方を積極的に採用して良いと思う。
- ・高山市は市民公園内に無料のドッグランがあり、ドライブがてら時々利用しているが、高岡市でも公園内にドッグランがあるといいのと思う。人も集まり、コミュニティの場になるのでは？
- ・テントサイトやバーベキューができれば最高だなと感じる。せっかく近場に自然を感じれる公園があるので、そういう場があるともっと利用したいと思う。
- ・子ども用のトイレを設置してほしい。改修費が必要なら、休日駐車場を有料（100円）にも賛成。
- ・建物は出来るだけ建てず、広い空間が魅力であるから、空間を大事にしてほしい。
- ・休みの日は親子連れイベント、平日は、老人向けイベントをもっとやってほしい。

## 4 社会情勢の変化

### (1) 国の動向

近年、都市を取り巻く社会経済状況は大きく変化している。少子高齢化と人口減少、都市化の進展と環境問題への関心の高まり、地方の活性化と都市のグローバル化、社会資本の老朽化の進行、財政制約の深刻化、国民の価値観の多様化など従来見られなかった社会経済状況の変化に対応した公園緑地政策が求められている。

このような状況に対応するため、平成 26 年 11 月から平成 28 年 5 月まで国土交通省において「新たな時代の都市マネジメントに対応した都市公園等のあり方検討会」を設置し、今後の都市公園をはじめとする公園緑地のあり方について検討している。

最終報告では、“これまでのステージでは経済成長や人口増加等を背景として緑のオープンスペースの量の整備を重視してきたが、社会が成熟化し、市民の価値観も多様化する中、公園緑地の整備も一定程度整備されたステージでは、緑とオープンスペースの多機能性を、都市のため、地域のため、市民のために引き出すことまでが役割であり、その視野を広げて取り組むことが必要である”とし、新たなステージで重視すべき視点として、「ストック効果をより高める（都市公園の活性化、再編成等）」、「民との連携を加速する（民間のビジネスチャンスの拡大と都市公園の魅力向上の両立）」、「都市公園を一層柔軟に使いこなす（公園の個性を引き出す工夫）」の 3 点が示された。

このような背景から、平成 29 年に都市公園法が改正され、民間活力による都市公園整備手法である「公募設置管理制度（Park-PFI）」など、新しい制度が創設されており、現在、多くの都市において当該制度の導入又は導入検討を行っているところである。

現在、法改正から 5 年が経過し、都市公園での Park-PFI や保育所の設置等、多様な主体の連携により都市公園のハード面の充実を図る制度の活用は一定程度進み、先進的・効果的な事例もある一方で、より柔軟に都市公園を使いこなすための公園の管理運営に関しては、依然課題があるとともに、デジタル化の急速な進展や新型コロナウイルス感染症の拡大を契機としたニューノーマル社会への対応、人口減少・少子高齢化への対応（こども政策の強力な推進）など、社会経済状況の変化を踏まえた公園の新たな役割への対応も求められている。

このことから、国土交通省では令和 4 年 2 月～9 月にかけて「都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会」を開催し、民との連携による、より柔軟に都市公園を使いこなすための質の高い管理運営のあり方等について議論・検討し、令和 4 年 10 月にその結果を提言として取りまとめている。次頁にその概要を示す。

本提言なども参考にしながら、おとぎの森公園独自の魅力向上を目指す。

# 都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会提言(概要)

## 都市公園制度誕生150年目のパラダイムシフト ～人中心のまちづくり時代における都市公園の意義・役割～

＜各時代の社会背景＞

明治6(1873)年	大政官布達	都市公園制度の始まり	名勝・旧跡等の観光遊覧の地を市民の恩恵の場として国民に開放	その後、震災時の避難地・防災拠点等として公園整備が進展	都市の近代化、震災復興・戦災復興の都市計画
昭和30年代～	都市公園法制定(S31)、都市公園等整備緊急措置法制定(S47)	経済成長、人口増加等を背景に、得とオーブンスペースの量の整備を急ぐステージ	得とオーブンスペースが持つ多機能性を都市のため、地域のため、市民のために最大限引き出すことを重視する「新たなステージ」へ	得とオーブンスペースの量の整備を急ぐステージ	高度経済成長、人口の急増、都市の拡大と過密化
平成28(2016)年	「新たな時代の都市公園等」最終報告書	「新たな時代の都市公園等」最終報告書	「新たな時代の都市公園等」最終報告書	「新たな時代の都市公園等」最終報告書	人口減少・高齢化、規制緩和、地方分権、地方創生、国際的な都市間競争、インフラ老朽化と技術職員の減少

ポストコロナの時代における人中心のまちづくりへの機運の高まり	「居心地が良く歩きたくなく」まちづくりの取組の広がり ～交流、滞在空間、開かれた心地よい空間の創出～	地球環境問題の新たな潮流 ～人と自然が共生する持続可能なレジリエントな都市の形成～	人口減少、少子高齢化への対応 ～全てのこどもの健やかな成長を目指すことと政策の推進～
新たな時代における都市公園の意義・役割 ～公園本来の役割、多機能性、多様な可能性の再認識～	持続可能な都市を支えるグリーンインフラ 心豊かな生活を支えるサードプレイス	市民・事業者の意識変化 ～参画意識の高まり、自己選別による社会課題解決と新たな市場創造・成長～	デジタル・トランスフォーメーションの進展 ～既存の仕組みの変革、新たな価値創出～

新たな時代における都市公園の意義・役割

個人と社会のWell-beingの向上に向け、地域の課題や公園の特性に応じ、ポテンシャルを更に発揮すべし

持続可能な都市を支えるグリーンインフラ

心豊かな生活を支えるサードプレイス

人と人のリアルな交流、イノベーションを生み出す場

社会課題解決に向けた活動実践の場

機動的なまちづくりの核

## 都市公園新時代 ～公園が活きる、人がつながる、まちが変わる～

人中心のまちづくりの中でポテンシャルを最大限発揮するため、パートナーシップの公園マネジメントで多様な利活用ニーズに応え、地域の価値を高め続ける「使われ活きる公園」を目指す

「使われ活きる公園」の実現に必要な3つの変革

- ① 都市アセットとしての利活用
- ② まちの資産とする
- ③ 個性を活かす

多様なステークホルダーの包摂

共に育て共に創る

パートナーシップの公園マネジメントを推進し、共有資産である公園を核にまちづくりへの関心を高める

### ◆都市公園新時代に向けた重点戦略～3つの戦略と7つの取組～

<p><b>重点戦略【1】</b></p> <p>新たな価値創出や社会課題解決に向けたまちづくりの場とする</p> <p>公園が新たな価値創出や社会課題解決の場となるよう、NBS(自然を基盤とした解決策)の視点からグリーンインフラとしての保全・利活用に計画的に取り組みむとともに、市民、事業者等による利活用の状況を管理運営や再整備にさめ細かく反映し、居心地が良く誰もが快適に過ごせる空間づくりを推進。</p>	<p><b>重点戦略【2】</b></p> <p>しなやかに使いこなし「仕組み」をととのえる</p> <p>公園は誰でも自由に使える空間という基本的な認識の下、多様な利活用ニーズに応え、さらには公園が機動的なまちづくりの核となるよう、公園の特性等に応じた利用ルールの弾力化、新たな可能性を探る実験的な利活用の推進など、公園を使いこなし仕組みを整理。</p>
<p><b>重点戦略【3】</b></p> <p>管理運営の担い手を広げ、つなぎ、育てる</p> <p>公園管理者としての体制確保、技術継承、地域との連携等に留意しつつ、多様な主体の参画を促進するとともに、管理運営を安定的に進めるよう自主性・自律性の向上を図り、ステークホルダーとのパートナーシップにより公園の価値を共創。</p>	<p><b>重点戦略【4】</b></p> <p>社会実験の場としての利活用</p> <p>公園での社会実験の事例・成果の共有</p>

<p><b>①グリーンインフラとしての保全・利活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○グリーンインフラを導入した緑の基本計画(公園の整備・管理方針を含む)の策定</li> <li>○緑の基本計画等に基づく自然環境の有する多機能性の戦略的な保全・利活用</li> <li>○緑の充実や再生可能エネルギーの活用等による公園のカーボンニュートラル化</li> </ul>	<p><b>②居心地が良く、誰もが安全・安心で、快適に過ごせる空間づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○公園の利活用状況の点検と点検結果を踏まえた公園再生</li> <li>○公園利用者の安全・安心の確保(防災・減災、バリアフリー、老朽化対策、防犯、暑熱対策等)</li> <li>○政策間連携による社会課題対応型の機能向上(健康、福祉、子育て、教育、地域経済等)</li> </ul>
<p><b>③利用ルールの弾力化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○画一的な利用ルールの見直しの促進(公園条例の方向性や選択肢の提示等)</li> <li>○多様な主体による幅広いテーマの社会実験を円滑に進めるための仕組みづくり(ローカルルールづくり(協議会の活性化)り(パークラボ)</li> </ul>	<p><b>④社会実験の場としての利活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○公園での社会実験の事例・成果の共有</li> <li>○多様な主体による幅広いテーマの社会実験を円滑に進めるための仕組みづくり(ローカルルールづくり(協議会の活性化)り(パークラボ)</li> </ul>
<p><b>⑤担い手の拡大と共創</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○公園の特性等に応じた管理運営体制や役割分担の多様化</li> <li>○利活用をミッションとする体制構築</li> <li>○民間の管理運営への参画を更に促進する仕組みづくり(中間支援組織との連携等)</li> </ul>	<p><b>⑥自主性・自律性の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自主性の財政的自立性の確保(計画的な収益事業実施、広告設置等)</li> <li>○利活用をミッションとする体制構築</li> <li>○民間の管理運営への参画を更に促進する仕組みづくり(中間支援組織との連携等)</li> </ul>

**⑦公園DXの推進**

デジタル技術とデータの利活用により、新たな時代の都市公園の実現を促進。

**施策の方向性**

- 公園に関わるデータのデジタル化、オープンデータ化
- データを活用したEBPM
- DXによる新たなサービスを生み出す場としての活用
- デジタル技術、データを活用した、公園の利活用・管理運営の変革(リアルタイムデータを活用したサービス等)

## (2) その他

### ① インクルーシブな遊び場づくり

近年、障がいの有無や年齢にかかわらず、全ての子どもと一緒に楽しめるインクルーシブな遊び場が、全国的に注目されている。

富山県では、富山県空港スポーツ緑地において、導入に向けた検証を行うため、令和3年9月から10月までの2か月間、試験的にインクルーシブに対応した遊具を設置し、アンケート調査を行い、利用者から高評価であったことから、令和4年度に「インクルーシブひろば」の整備（令和5年春供用開始予定）を進めている。

東京都では「だれでもが遊べる児童遊具広場」のガイドラインを作成し、誰もが自分らしく輝くことのできるダイバーシティの実現に向け、障がいの有無にかかわらず、子ども達が安全に遊ぶことができる遊び場の整備（砧公園：みんなの広場、府中の森公園：もり公園にじいろ広場）に取り組んでいる。

#### ■東京都建設局「だれでもが遊べる児童遊具広場」のガイドライン（抜粋）

表Ⅱ-1-1 「だれでもが遊べる児童遊具広場」の基本的事項

基本的事項	概要
整備する公園の種別	特に規定はなし
利用する年齢層	概ね3才から12才の児童が主体。 保護者や兄弟などの利用も幅広く考慮。
規模	地域や公園の特性に応じて柔軟に対応していくが、小さな広場は概ね200㎡程度、大きな広場は概ね5000㎡程度。
アクセシビリティ	ユニバーサルデザインであることが必要。
遊具・施設	1基以上、ユニバーサルデザインに配慮した遊具・施設が配置されていることが必要。
周辺施設	公園の出入口や駐車場、園路、トイレなどの基本的な施設は、ユニバーサルデザインであることが必要。
児童遊具広場との関連性	既存の児童遊具広場を改修する際、あるいは新規に整備する際には、本ガイドラインを参考とする。ただし、従来型の遊具・施設の導入、混在についても、地域ニーズ等によって柔軟に対応していくことが必要。

### ② デジタル・トランスフォーメーション（DX）を活用した公園づくり

国では、前述の都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会において、デジタル技術の利活用により柔軟な管理運営の実現を促進するため、公園のオープンデータ化やデジタル技術による維持管理の効率化などを施策の方向性とすることを検討している。

高岡市においても、令和3年度に高岡市DX推進方針を策定し、「市民がゆとりと豊かさを実感できるデジタル社会の実現」を目指し、①社会のデジタル化（市民が豊かさを実感できるデジタル社会の実現）と②行政のデジタル化（市民が利便性を実感できる行政サービスの実現）を施策の柱としてDXを推進することとしている。DX推進会議では、高岡おとぎの森公園にWi-Fiや充電機能を備え、太陽光で自家発電する「スマートベンチ」を設置する案などが提案されている。

## II. 魅力向上のための取り組みの視点と改善すべき課題

### 1 本公園の目指す姿（基本理念・基本テーマ）

高岡おとぎの森公園は、下に示す基本理念及び基本テーマを掲げ、メインターゲットを“未来を担う子ども達”におき、これまで整備・管理運営を行ってきた。

現在、本公園は、公園が目指す基本理念のとおり、水と緑を身近に楽しめる公園として、自然を感じながら遊ぶ子ども達やピクニックを楽しむ親子連れなど多くの方々に愛される公園となっており、今後も基本計画に掲げた基本理念や基本テーマを継続する。

<高岡おとぎの森公園基本計画抜粋>

#### ●基本理念

21世紀を担っていく子ども達が、情操豊かに、たくましく成長していくため、郷土の豊かな自然にふれあいながらのびのびと遊び、自分達の住んでいる郷土や地球の自然環境の大切さについて学び、さらには自らの手で新しい遊びを創り出していくことのできる“現代のおとぎの国”となる公園づくりを行っていく。

#### ●基本テーマ

自然は友達！「自然と遊び、自然に学び、友とふれあう」

また、本公園は、本市における緑の拠点機能を有しており、引き続き、幅広い世代が緑を通し、心の豊かさを感じられるような心を癒し安らげる空間づくりを進める。

加えて、利用者のニーズや国の動向、社会情勢の変化などに対応する視点を持ち、コロナ禍における新たな生活スタイルへの対応、デジタル・トランスフォーメーション等を活用した公園の魅力向上、ユニバーサルデザイン化・インクルーシブデザイン化された公園づくりを意識して取り組み、本公園に集う人がつながり、さらに豊かに暮らせるような交流の場づくりを目指す。

これらの実現にあたっては、市民や民間事業者などの参画や互いの連携が必要であり、市民・企業との対話を重視し、民間活力を活用した取り組みを積極的に進めていく。

上記を踏まえ、本計画の基本理念及び基本テーマを次のとおりとする。

## (1) 基本理念

未来を担う子ども達が、情操豊かに、たくましく成長していくため、豊かな自然にふれあいながら友とのびのびと遊び、自分たちが住んでいる郷土や地球の自然環境の大切さについて学び、さらには自らの手で新しい遊びを創り出していくことのできる“現代のおとぎの国”となる公園づくりを行っていくとともに、子ども達やその家族、緑に触れ合う人など、様々な人が出会い、つながり、未来につなぐ場づくりに取り組む

## (2) 基本テーマ

**自然はともだち！「自然と遊び、学び、友とふれあい」**

**人と人がつながり、未来へつなぐ「おとぎの森」!!**

## (3) 整備・活用基本方針

### <基本方針①>

身近な自然の<体験学習> <冒険的な遊び> など子ども達の自主的な活動を通して自ら豊かな感性や創造性を磨いていく活動の場づくり

### <基本方針②>

花と緑の拠点にふさわしい緑豊かな森の形成及び情報発信の核となる活動拠点づくり

### <基本方針③>

千保川の豊かな水辺空間を活かした公園づくり

### <基本方針④>

四季折々の行事開催や冬季の交流活動も行える公園づくり

### <基本方針⑤>

安全・安心で快適な、子育て世代をはじめとした市民の交流の場づくり

## 2 特徴（強みと弱み）

実施したアンケート調査等から高岡おとぎの森公園の強み（良いところ・好きなところ）と弱み（悪いところ・嫌いなところ）、充実させること（改善点）をまとめた。

**強み** (良いところ・好きなところ)

- 大小さまざまな遊具  
屋外にも屋内にも幅広い年齢層が遊べる
- 自然  
みどり・花・水  
四季の景色  
空気がきれい
- バラ園  
きれい、手入れが行き届いている
- 広い  
見渡せる、ゆったり開放感、のびのび居心地がいい
- 芝  
広い、きれい
- ドラえもん広場
- 水遊び  
親水

**弱み** (悪いところ・嫌いなところ)

- 日陰、休憩所  
飲食する場所が少ない
- 駐車場の充実  
が少ない・狭い  
(特に土日祝日)
- 飲食・物販  
施設が少ない  
カフェがない
- 施設の老朽化  
古い、暑い  
きれいじゃない  
(イス・ベンチ、舗装、おとぎの森館 B1)
- どこに何があるかわからない  
(施設情報)
- 赤ちゃんが遊べる場所がない
- トイレ  
幼児用少ない  
和式が多い  
狭い・暗い
- 公園のPR不足
- 芝生に犬のマナー

**充実させること** (改善点・不足していること)

- 休憩施設  
日陰 (木陰)  
ベンチ
- 駐車場の充実  
(台数・整理員)
- 飲食施設  
カフェ  
ランチが買える場所がない
- 施設の老朽化対策  
充実  
(Wi-Fi 設備なども)
- 遊具をもっと増やして欲しい  
(アスレチック、健康器具なども)
- 豊富なイベント  
(特に子ども向けのもの)
- トイレの充実  
(特に子ども用の設備)
- 赤ちゃんも遊べる場所
- PR  
公園・施設・イベント情報発信看板設置
- 犬連れの利用者への対応
- 噴水  
親水広場の充実
- 遠足・旅行時の荷物置場

### 3 取り組みの視点及び改善すべき課題

強みは「(1) 更に伸ばす」又は「(2) 維持していく」取り組み、弱み及び充実させることは「(3) 改善を図る」又は「(4) 新たな機能を追加する」取り組みとして整理し、社会情勢の変化も考慮したうえで、施策の方向性（視点）をまとめる。

#### 本公園の更なる魅力向上のために、

取り組みの視点	取り組むべき課題
(1) 更に魅力を伸ばすこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>①多様で誰もが利用できる遊具の充実</li> <li>②バラ園の更なる魅力向上</li> <li>③親水機能の強化</li> <li>④防災機能の強化</li> </ul>
(2) 維持していくこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>①みどり（樹木・芝など）の適正な管理</li> <li>②見通しの良い開放感のある空間、安心してくつろげる空間の提供</li> </ul>
(3) 改善を図ること	<ul style="list-style-type: none"> <li>①老朽化した施設への対応（トイレ等の改善含む）</li> <li>②駐車場の充実（駐車台数、整理員の配置など）</li> <li>③日陰、休憩施設の充実</li> <li>④情報発信の強化（公園 PR、施設情報など）</li> <li>⑤犬連れの利用者への対応</li> </ul>
(4) 新たな機能を追加すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>①カフェなど飲食施設の導入</li> <li>②赤ちゃんも遊べる場所</li> <li>③豊富なイベントの開催</li> <li>④その他の機能（荷物置場の確保、Wi-Fi 設備、ギャラリー機能など）の充実</li> </ul>

## (1) 更に魅力を伸ばすこと

### ① 多様で誰もが利用できる遊具の充実

赤ちゃんから大人まで幅広い層が安心して楽しめる多様な遊具の設置・更新を行う。

また、整備にあたっては、障がいの有無や年齢にかかわらず、全ての子どもと一緒に楽しめるインクルーシブな遊び場の視点や、子ども達が自らの手で新しい遊びを創り出していくことができる空間づくりの視点、健康づくりの場の視点などを意識して取り組む。

### ② バラ園の更なる魅力向上

メルヘンガーデンをはじめ、おとぎの森館周辺など千保川の西側のエリアには、様々な品種のバラが数多く咲いている。今後もバラの適正な管理に努めるとともに、関係団体と連携して“バラに親しめる公園”としてブランディングに取り組む。

### ③ 親水機能の強化

本公園の中央には千保川が流れており、公園内では庄川の伏流水が湧き出る井戸もあり、豊かな緑とともに「水」も本公園の魅力の一つである。おとぎの森広場のカスケードのように水と触れ合える親水機能の強化に取り組む。

### ④ 防災機能の強化

本公園は、地域防災計画に基づく、本市の広域避難場所（地震・大規模火事の指定緊急避難場所）に指定されており、地震や火災で延焼拡大した場合の避難場所となっている。災害発生後に被災者が安全に当面の居所を確保することができるよう、防災機能の強化に取り組む。

## (2) 維持していくこと

### ① みどり（樹木・芝など）の適正な管理

本公園は「郷土の森の創造」及び「四季折々の自然の変化に出会い、美しい風景を楽しめる公園づくり」を意識した樹木が植栽されている。現在、大きく育った樹木や草花、広大な芝生などが、四季折々の素晴らしい自然景観を生み出し利用者を楽しませている。引き続き、利用者が安心して快適に自然に触れ合い、心を癒し安らげる空間となるよう、みどりの適正な保全・管理に取り組む。

### ② 見通しの良い開放感のある空間、安心してくつろげる空間の提供

比較的どの位置からも公園全体が見渡せることから、おとぎの森広場や森のお祭り広場に寝転がってピクニックする親子連れや、散歩しながら風景を楽しむ利用者に開放感と癒しの時間を提供している。引き続き、見通しの良い開放感のある空間を提供するとともに、安全に安心して利用いただけるよう、適切な維持管理に取り組む。

### (3) 改善を図ること

#### ① 老朽化した施設への対応（トムの改善含む）

公園内の施設は、平成8年から平成15年にかけて順次供用していることから、施設により最大25年以上経過しており、老朽化が進行している。利用者の安全確保のため、これらの施設については、高岡市公園施設長寿命化計画（令和2年度策定）の健全度診断結果に基づき、順次、計画的に修繕・更新等に取り組む。

また、改修・更新にあたっては、利用者のニーズを踏まえ、機能そのもののあり方や機能の充実などを検討する。

#### ② 駐車場の充実（駐車台数の拡充、整理員の配置など）

本公園は郊外にあることから、公園への交通手段はほとんど自動車（過去アンケート調査による）である。このため、土日には満車になることも多く、利用者から駐車場の不足等についての不満の意見が多い。利用者の利便性向上させ、より多くの方にご利用いただくために、駐車場問題の改善に向けて取り組む。

#### ③ 日陰、休憩施設の充実

公園内は見通しが良く開放的である一方で、日陰が少なく、子ども達を見守りながら保護者が休める場所や木陰に座って落ち着いて景色を楽しめる場所を望む意見が多い。これらの利用者ニーズに対応するため、遊具周辺や園路沿いなどにおいて休憩施設の充実に取り組む。

#### ④ 情報発信の強化（公園PR、施設情報など）

公園の魅力を多くの方に知ってもらうために、情報（公園自体、施設情報、イベントなど）発信の強化に取り組む。

また、複合遊具やおとぎの森館（ふわふわドーム、ボールプール）など特定の施設以外の認知度は低く、各エリアの施設情報なども不足しているため、誰もが安全で快適に利用できる環境づくりを意識した施設の利便性の向上に取り組む。

#### ⑤ 犬連れの利用者への対応

近年、犬を飼う人が増えており、本公園でも犬連れの利用者を多く見かける。こうした犬連れの利用者の多くはマナーを守った利用をされている一方で、一部の飼い主のマナー違反などが問題になっている。利用者には犬の苦手な方も一定数存在しており、両者が気持ちよく利用できるよう、環境づくりに取り組む。

### (4) 新たな機能を追加すること

#### ① カフェなど飲食施設の導入

園内には売店や自動販売機が設置してあるものの、利用者からはカフェなど室内で落

ち着いて、子ども達と飲食できる施設を望む意見が多くある。利用者の利便性向上のため、飲食施設の導入に取り組む。

② 赤ちゃんも遊べる場所の確保

0歳児から遊べる、その保護者が安心して遊ばせられる・利用できる場づくり、子育て世代の交流の場となるような環境整備に取り組む。

③ 豊富なイベントの開催

緑の拠点にふさわしい、一年を通した催しの開催を継続するとともに、本公園の基本理念（子ども達が自然にふれあい遊び・学べる、利用者が交流でき、人とつながれる）を実現するイベントを中心に、利用者が楽しめる多様なイベントの開催を地域住民や民間企業と連携して取り組む。

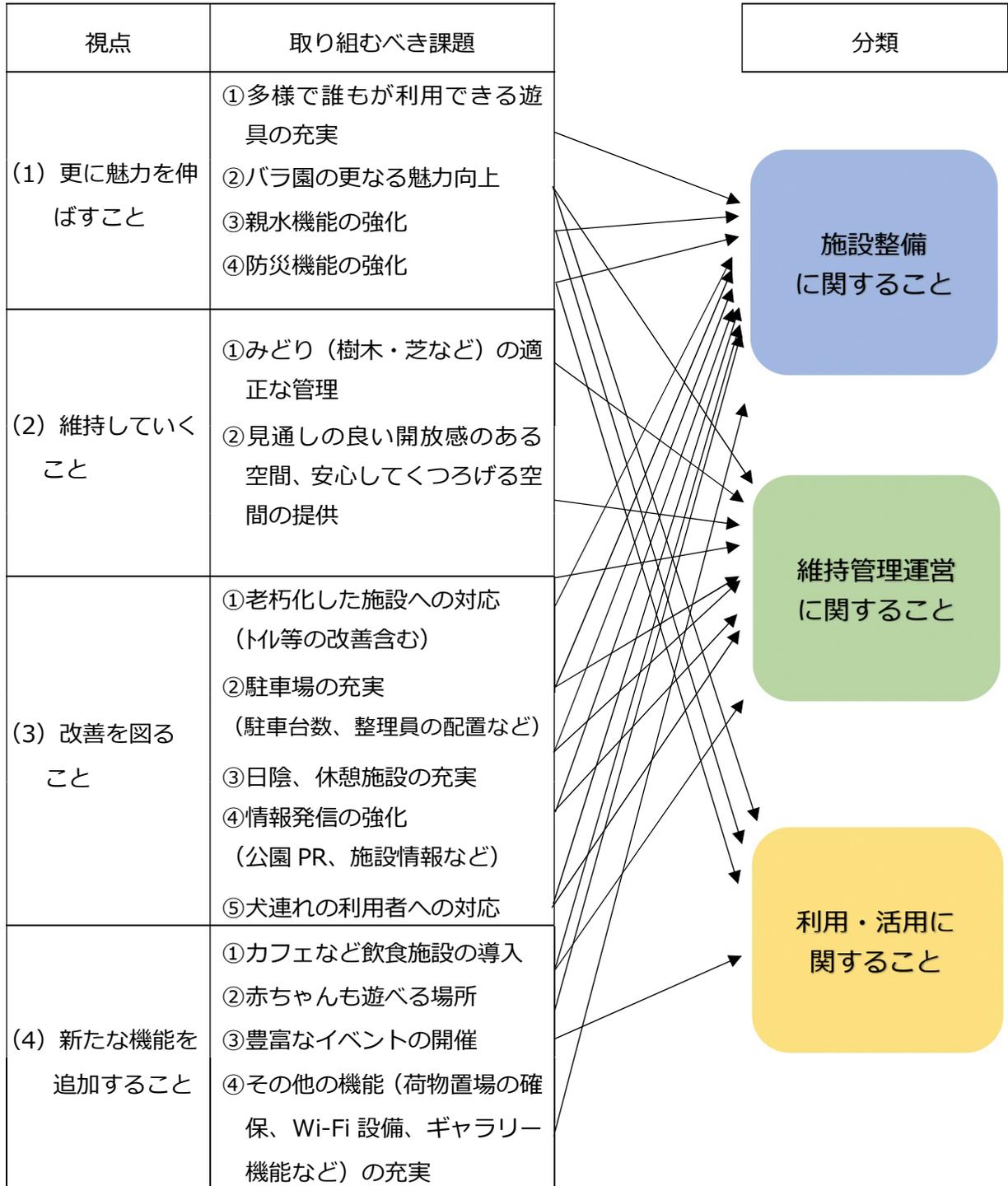
④ その他の機能（荷物置場の確保、Wi-Fi設備、ギャラリー機能など）の充実

このほか、本公園の魅力向上につながる機能の充実に取り組む。

### Ⅲ. 具体的な取り組み

#### 1 取り組みの分類

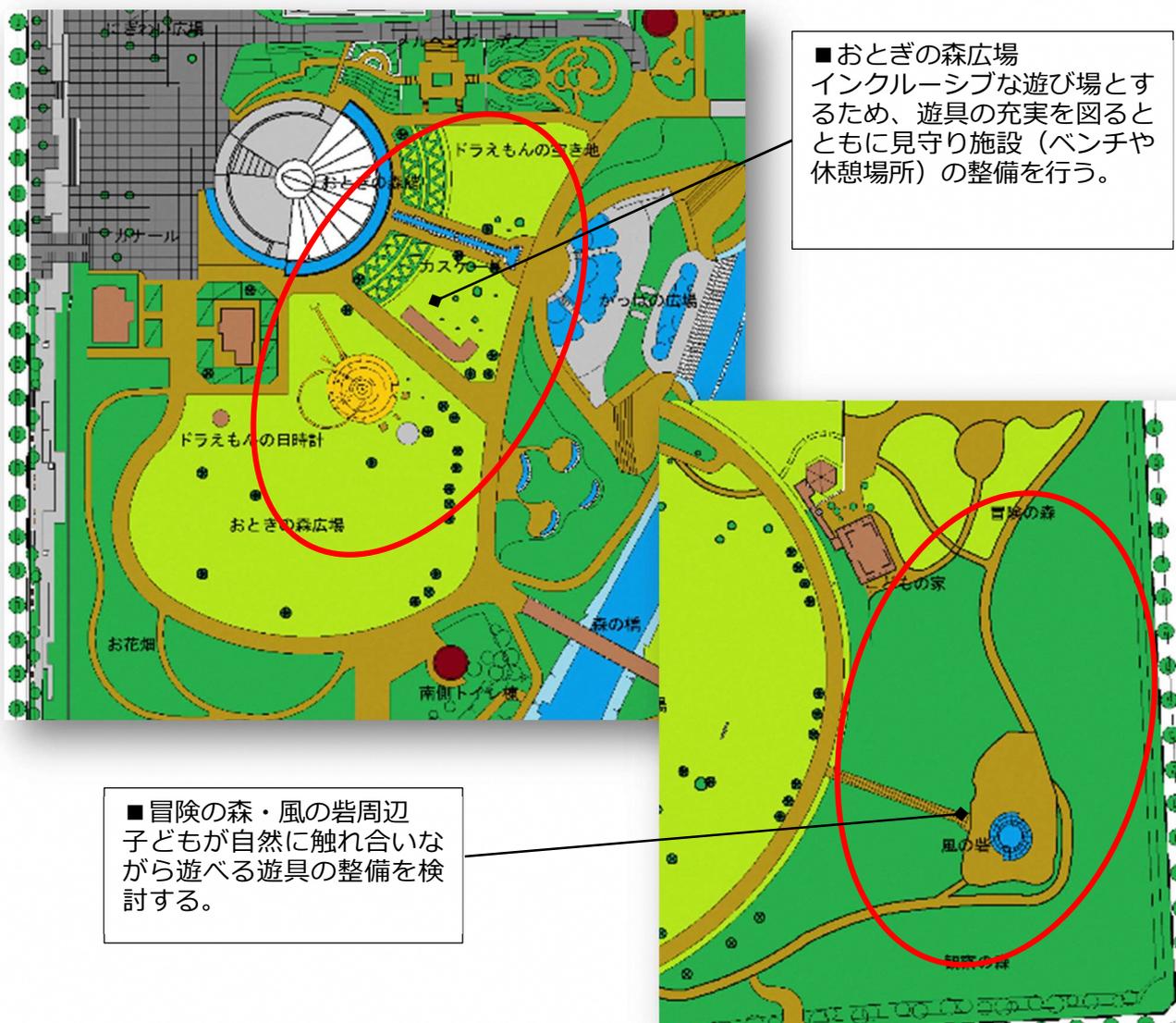
Ⅱ.3で整理した取り組みの視点及び改善すべき課題を以下の3つ（施設整備、維持管理運営、利用・活用）に分類し、具体の取り組みを検討する。



## 2 実施すべき取り組み

### (1) 施設整備に関すること

- ・**遊具**は、引き続き、おとぎの森広場をメインに設置する。遊具の配置は、主に赤ちゃんや未就学児を対象とした比較的難易度の低い遊具を配置した「幼児用遊具ゾーン」、大型複合遊具をメインに小学生でも楽しめる難易度の高い遊具も配置した「チャレンジゾーン」、レジャーシートを敷いて寝転んだり、ベンチに座って遊具で遊ぶ子どもを見守る「見守り・芝生ゾーン」を基本とする。また、利用者で様々な選択が可能なインクルーシブな遊び場とするため、各ゾーンの遊具の更新とあわせて、車いすやベビーカーでも出入りしやすい動線の確保や日陰・ベンチ等の見守り施設など周辺環境の整備を行う。さらに、冒険の森にある風の砦周辺では、子どもが自然に触れ合いながら遊べる芝り場やアスレチック遊具等、ウォーキングコース沿いに健康増進のための健康器具などの設置を検討する。



- ・現在、おとぎの森公園には、駐車場は300台が収容可能であるが、春と秋の行楽シーズンの週末には満車状態になることから、現在、利用頻度の低いにぎわい広場について、現在の機能（※<sup>2</sup>）を確保しつつ、駐車場としても活用できるよう再整備を行い、**駐車場の充実**を図る。

※<sup>2</sup>にぎわい広場は西側のゲート機能を担った広場で、おとぎの森館にアプローチする前庭広場。花と緑に関連した行事をはじめ、様々なイベントが開催できる多目的広場の機能を持つ。

■基本計画における需要予測（H5）

休日における乗用車による利用率を全体の60%、同乗者率を3.5人/台、同時滞在利用者数を1,400~2,100人（中間値1,750人）と想定し、本公園の駐車場容量を算定。

駐車場容量 = 同時滞在利用者数 × 乗用車による利用率 ÷ 同乗者数 ⇒ 300台（中間値）

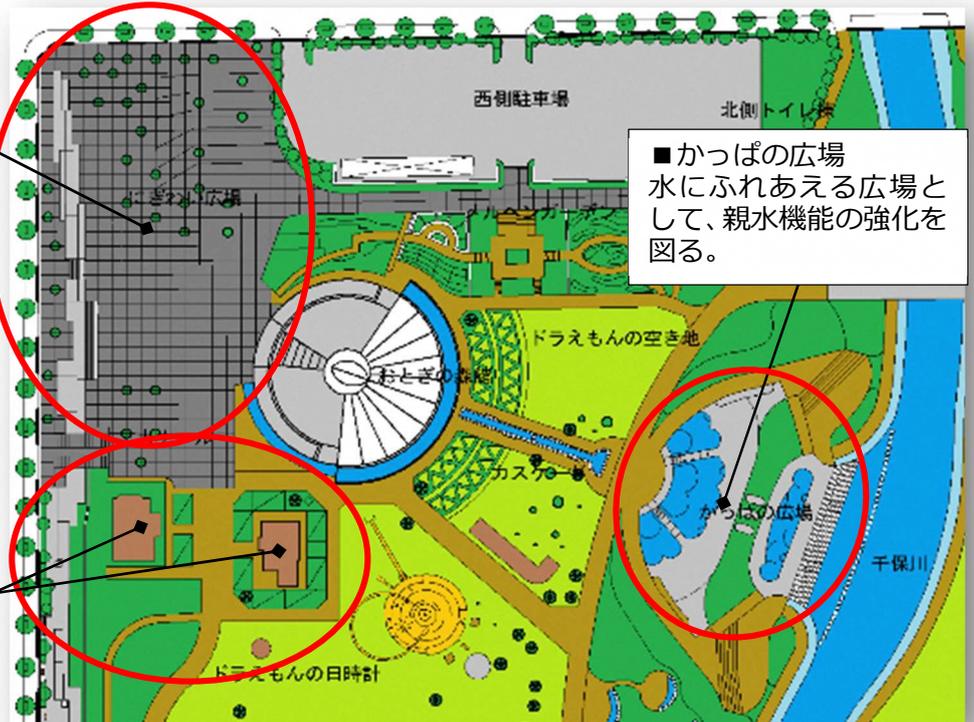
今回のアンケート結果では、乗用車による利用率は72%~90%（中間値81%）であったことから、この数値を修正し算定すると、405台となることから、さらに105台以上確保する。

- ・全国都市緑化フェア会場のために整備された森のふれあい館やなかよしハウスは、休憩所や貸館として利用されているがその利用は限定的で、利用率が低いため、利用者のニーズに合った施設の更新を図るものとする。施設の更新にあたっては、**カフェなどの飲食施設**や**赤ちゃんも遊べる施設の導入**を検討し、官民連携による整備・運営を目指すものとする。また、飲食施設については店内からおとぎの森公園の四季の景色を望める配置とするとともに、親子連れが利用しやすい施設やサービス内容（豊富な子どもメニュー、キッズ・ベビースペース、幼児用トイレなど）となるよう取り組む。

■にぎわい広場  
駐車場及びイベントなど多目的に利用できる広場として再整備を行う。

■かっぱの広場  
水にふれあえる広場として、親水機能の強化を図る。

■なかよしハウス  
■森のふれあい館  
利用者のニーズに合った施設（飲食施設など）の更新を官民連携手法により取り組む。



- ・ かつぱの広場の**親水機能の強化**を図る。おとぎの森館アトリウムガーデン前にあるカスケードでは多くの子ども達が水にふれあう姿を見かける一方、かつぱの広場では、設備の老朽化に伴い、噴水が停止している状況である。設備の更新を進めるとともに水にふれあえる広場として再整備を検討する。
- ・ 園内には、園路沿いにベンチやテーブル等が設置されているが、多くが老朽化しており、利用しづらいものも多くあることから、**休憩施設の充実**のため、ベンチやテーブルの更新及び増設を計画的に実施する。更新、増設にあたっては、主に木陰や遊具周辺などに配置するよう努める。また、本公園の**防災機能の強化**のため、災害時にも役立つかまどベンチ（※<sup>3</sup>）やスマートベンチ（※<sup>4</sup>）などの設置や、コロナ禍における新たな生活スタイルに対応した、より安心して快適な空間づくりなどに配慮した抗ウィルス、抗菌ベンチなどの設置を検討する。

※<sup>3</sup>かまどベンチとは、平常時はベンチとして使用し、災害時には座板を外すことにより、炊き出し用かまどとして利用可能なベンチのこと。

※<sup>4</sup>スマートベンチとは、太陽光などで発電し、スマートフォンなどをはじめ、Wi-Fi ホットスポットシステムなどが可能なベンチのこと。



- ・ 屋外トイレについては、「狭い」「暗い」などの意見も多いことから、誰もが使いやすい施設とするため、改修を行う。改修にあたっては、子ども用トイレの設置をはじめ、滑りにくく段差の少ない床面仕様や、高齢者・障がい者等にも使いやすい男子用小便器、手すりの設置、多機能便房（※<sup>5</sup>）の設置などを検討する。

※<sup>5</sup>車いす使用者等が円滑に利用できる機能のほか、オストメイト対応や乳幼児連れ対応機能等、必要に応じて多様な機能を付加した便房。

- ・ おとぎの森館の施設については、平成26年度以降、順次、各施設のリニューアル（H27：展望台、H30：1階アトリウムガーデン、2階スライドシャワーなど）を実施してきているが、地階の不思議の泉・地下回廊（富山県の自然生態系のクイズを解きながら学べる体験学習型の常設展示空間）が開園当時のままで、老朽化が著しいことが

ら、再整備を行う。再整備にあたっては、民間のアイデアを募り、子どもが遊びながら学べる施設とする。

- ・園内の施設情報を来園して直ぐに入手できるよう、駐車場の入口にバリアフリー情報も記載した園内施設案内板を設置する。また、園内の施設にはQRコードなどを活用した施設情報の提供を行うほか、イベントや花の開花状況などの情報をSNSでリアルタイムに発信することなど、**情報発信を強化**することで利用者の利便性向上を図る。

## (2) 維持管理運営に関すること

- ・公園施設は、「公園施設長寿命化計画策定指針（案）」（国土交通省都市局公園緑地・景観課）に定められた項目に準じて策定した「高岡市都市公園施設長寿命化計画（※<sup>6</sup>）」に基づき、**老朽化した施設の対応**も含め、計画的に施設の維持管理を行うとともに、今後も定期的に健全度調査を行い、施設の状況を把握する。また、園路などの舗装の劣化が著しいことから再舗装を行う。

※<sup>6</sup>公園施設長寿命化計画は、公園の遊具や施設（ベンチ等）について、利用者のさらなる安全性確保及びライフサイクルコスト縮減の視点から、適正な施設点検や維持管理等の予防保全管理を行い、施設の長寿命化対策及び計画的な修繕、改築、更新を行うことを目的とし策定された。この計画に基づき、森の橋やおとぎの森館の外壁、冷温水発生器（空調設備）の改修等を実施した。

- ・視界を遮る建物などの施設は、必要最小限にとどめる。また、森のお祭り広場は、子どもが自由な発想で遊ぶことができるオープンスペースとして、また、**公園全体の見通しのよさ、開放感を確保**するため、遊具の設置やその他、工作物・施設等（木陰のベンチ等は除く）の設置は行わず、既存の**みどりや芝生の適正な維持管理**に努める。
- ・本公園は、全体として季節感を感じるよう、「花・香り・紅葉・実」があるものを考慮し植栽されている。芝生広場は利用者が自由に活動できるよう、緑陰や四季の変化を提供する高木が園路沿いを中心に必要な最低限に配置されている。また、冒険の森には郷土の森の再現を意識し、昆虫や鳥などが好んで集まる樹木を配置して、自然観察ができるような植栽を行っている。現在、良好に成長した樹木はそれぞれの役割を果たしており、今後も、適時、適切に剪定や間伐、補植等など、**適正な植生管理**を実施していく。
- ・**みどりや施設の維持管理**において、市民や企業による社会奉仕活動（ボランティア）は大きな役割を担っており、公園への愛着心を醸成するきっかけにもなる。このため、ボランティアの活動人口の増加を図ることを目的に、活動について広報の強化や子ども

も楽しんで活動できるイベントなどの開催を検討する。

- ・ **日陰の確保**については、四阿などの休憩施設の増設は、見通しの確保などの観点から設置数に限界がある。このため、既存の休憩施設の更新などを進めるほか、利用者へのテントの貸出（有料）などを社会実験として実施し、日陰や休憩施設の充実への効果などを検証する。
- ・ 園内を彩るバラは、関係緑化団体の協力も得て良好に管理されており、シーズンには多くの利用者を楽しませている。引き続き、**バラの適切な管理**に努め、必要に応じて植替えや可能であれば増殖も検討する。また、「バラに親しめる公園」としての認知度向上を図るため、SNSなどの**情報発信**ツールを活用し、バラの魅力を県内外に広く発信する。
- ・ 本公園は、老若男女、赤ちゃんからお年寄りまで幅広い世代の方にご利用いただいているため、公園内の既存機能を廃止してのドックラン設置は、犬が苦手な方やアレルギーの方などとの動線の棲み分けが難しい。また、ドックランは専用スペースを確保する必要があるものの、園内で必要なエリアスペースの確保は困難な状況である。このため、本公園では、犬と飼い主のための休憩所の設置、リード用のフックの設置など**犬連れの方、犬が苦手な方、両者に気持ち良く利用いただくため、犬の共存できる環境づくり**に取り組む。また、飼い主に対しては糞の持ち帰りや放し飼い禁止など、基本的なマナー遵守の周知徹底を図る。



- ・ 駐車場などの出入口に AI カメラを設置し、カメラ画像から利用者の実態（入込数、混雑状況、性別、年齢層など）を把握することで、維持管理運営の改善につなげ、利用者のサービス向上を図る。また、将来的には、更なる利用者へのサービス向上及び治安向上（指定場所への侵入、指定物の盗難の通知）のため、AI カメラの活用による利用者

の動線の可視化、ライブ配信などの検討も行う。

### (3) 利用・活用に関すること

- ・こどもの家は、現在、利用頻度が低い。利用者の目的としては主に屋外やおとぎの森館にある遊具利用や、散歩、ウォーキング、芝生でのピクニックなどであることから、こどもの家の活用方法が利用者のニーズとあっていない状況にあると考えられる。このため、既存機能の見直しを行い、遠足時の荷物置き場や昼食場所など休憩所や、屋外での体験学習や遊びの拠点となるような活用を検討する。
- ・関係緑化団体と連携し、春秋のバラ展の開催やバラの講習会などを行い、本公園でより多くの方がバラに親しんでいただけるよう取り組む。なお、取り組みにあたっては種苗法に抵触しないよう留意する。
- ・本公園では、主に子ども達が体験したり、学んだり、遊んだりできるイベントや緑に触れ合うことのできるイベントに取り組むとともに、利用者の憩いや交流につながるイベント等についても、積極的に取り組む。また、新型コロナウイルス感染症拡大以前は様々な団体が自主的にイベントを実施しており、再び、市民・地域団体・民間事業者など多様な主体で開催できるような環境づくりにも取り組む。
- ・子ども達がさまざまな遊びを知り、創造的な遊びを見つけるきっかけや仲間づくりのきっかけを創れるようプレイリーダー制度等の導入に向け、その仕組み等について調査研究を進める。また、利用者が親しみや愛着を持った公園としていくため、再整備時に利用者が参加できるイベントなどを検討する。
- ・おとぎの森館では、絵画（レプリカ）からスポーツ、乗り物など子ども達の好奇心を高める多くの展示物を設置しており、利用者から好評を得ている。一方で、展示場所が確保されていないため、ギャラリーの拡充を図る中で展示場所が点在した状況になっている。このため、一カ所に集約して展示できるギャラリースペースを確保する。

高岡おとぎの森公園魅力向上策 取りまとめ表

視点① 今ある魅力を更に伸ばすこと										
課題	取り組みの考え方	施設名 (又はエリア)	具体的な取り組み	実施時期	整備・活用 基本方針					
					①	②	③	④	⑤	
多様で誰もが利用出来る遊具の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤ちゃんから大人まで幅広い層が安心して楽しめる多様な遊具の設置・更新を行う。</li> <li>全ての子どもと一緒に楽しめるインクルーシブな遊び場の視点や、子ども達が自らの手で新しい遊びを創り出していくことができる空間づくりの視点、健康づくりの場の視点などを意識して取り組む。</li> </ul>	おとぎの森広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊具は、おとぎの森広場をメインに設置する。</li> <li>遊具の配置の考え方は、「幼児用遊具ゾーン」、小学生でも楽しめる「チャレンジゾーン」、遊ぶ子どもを見守る「見守り・芝生ゾーン」を基本とし、利用者で様々な選択が可能なインクルーシブな遊び場とする。</li> <li>各ゾーンの遊具の更新をはじめ、車いすやベビーカーでも出入りしやすい動線の確保や日陰・ベンチ等の見守り施設など周辺環境の整備を行う。</li> </ul>	短～中長期	●					●
		冒険の森	<ul style="list-style-type: none"> <li>風の砦周辺では、子どもが自然に触れ合いながら遊べる芝そり場やアスレチック遊具等の設置、ウォーキングコース沿いに健康増進のための健康器具などの設置を検討する。</li> </ul>	短～中長期						
バラ園の更なる魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後もバラの適正な管理に努めるとともに、関係団体と連携して“バラに親しめる公園”としてプランティングに取り組む。</li> </ul>	千保川の西側のエリア (メルヘンガーデン～おとぎの森館周辺 など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内を彩るバラは、関係緑化団体の協力も得て良好に管理されており、シーズンには多くの利用者を楽しませている。引き続き、バラの適切な管理に努め、必要に応じて植替えや可能であれば増殖も検討する。</li> <li>関係緑化団体と連携し、バラ展の開催やバラの講習会などの開催を通じて、引き続き、バラに親しむ機会を創出する。取り組みにあたっては、種苗法に抵触しないよう留意する。</li> <li>「バラに親しめる公園」としての認知度向上のために、SNSなどの情報発信ツールを活用し、バラの魅力を県内外に広く発信する。</li> </ul>	短期		●		●		
親水機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>水に触れ合える親水機能の強化に取り組む。(かっぱの広場、おとぎの森広場カスケード、園内の井戸 など)</li> </ul>	かっぱの広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>かっぱの広場の親水機能の強化を図る。老朽化した設備の更新を進めるとともに、水にふれあえる広場として再整備を検討する。</li> </ul>	短～中長期			●			
防災機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時に安全に当面の居所を確保することができるよう、防災機能の強化に取り組む。(地域防災計画に基づく、広域避難場所)</li> </ul>	公園全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベンチの更新や増設にあたっては、防災機能強化のため、災害時にも役立つかまどベンチやスマートベンチなどの設置や、より安心して快適な空間づくりなどに配慮した抗ウイルス、抗菌ベンチなどの設置を検討する。</li> </ul>	短期				●		

視点② 今ある魅力を引き続き維持していくこと										
課題	取り組みの考え方	施設名 (又はエリア)	具体的な取り組み	実施時期	整備・活用 基本方針					
					①	②	③	④	⑤	
みどり(樹木・芝など)の適正な管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者が安心して快適に自然に触れ合い、心を癒し安らげる空間となるよう、みどりの適正な保全・管理に取り組む。</li> </ul>	公園全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>本公園は、全体として季節感を感じるよう、「花・香り・紅葉・実」があるものを考慮し植栽されている。各エリアで良好に成長した樹木はそれぞれの役割を果たしており、今後も、適時、適切に剪定や間伐、補植などの植生管理を実施していく。</li> <li>市民ボランティアの活動人口の増加を図るため、活動に関して広報の強化や子どもも楽しんで活動できるイベントなどを開催する。</li> </ul>			●				
見通しの良い開放感のある空間、安心してくつろげる空間の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>本公園は、比較的どの位置からも公園全体が見渡せることから、開放感と癒しの時間を提供している。引き続き、見通しの良い開放感のある空間を提供するとともに、安全に安心して利用いただけるよう、施設の適切な維持管理に取り組む。</li> </ul>	公園全体  (森のお祭り広場)	<ul style="list-style-type: none"> <li>視界を遮る建物などの施設は、必要最小限とする。</li> <li>森のお祭り広場は、子どもが自由な発想で遊ぶ広場として、また、公園全体の見通しのよさ、開放感を確保するため、遊具の設置やその他、工作物・施設等(木陰のベンチ等は除く)の設置は行わず、既存のみどりや芝生の適正な維持管理に努める。</li> </ul>		●					●

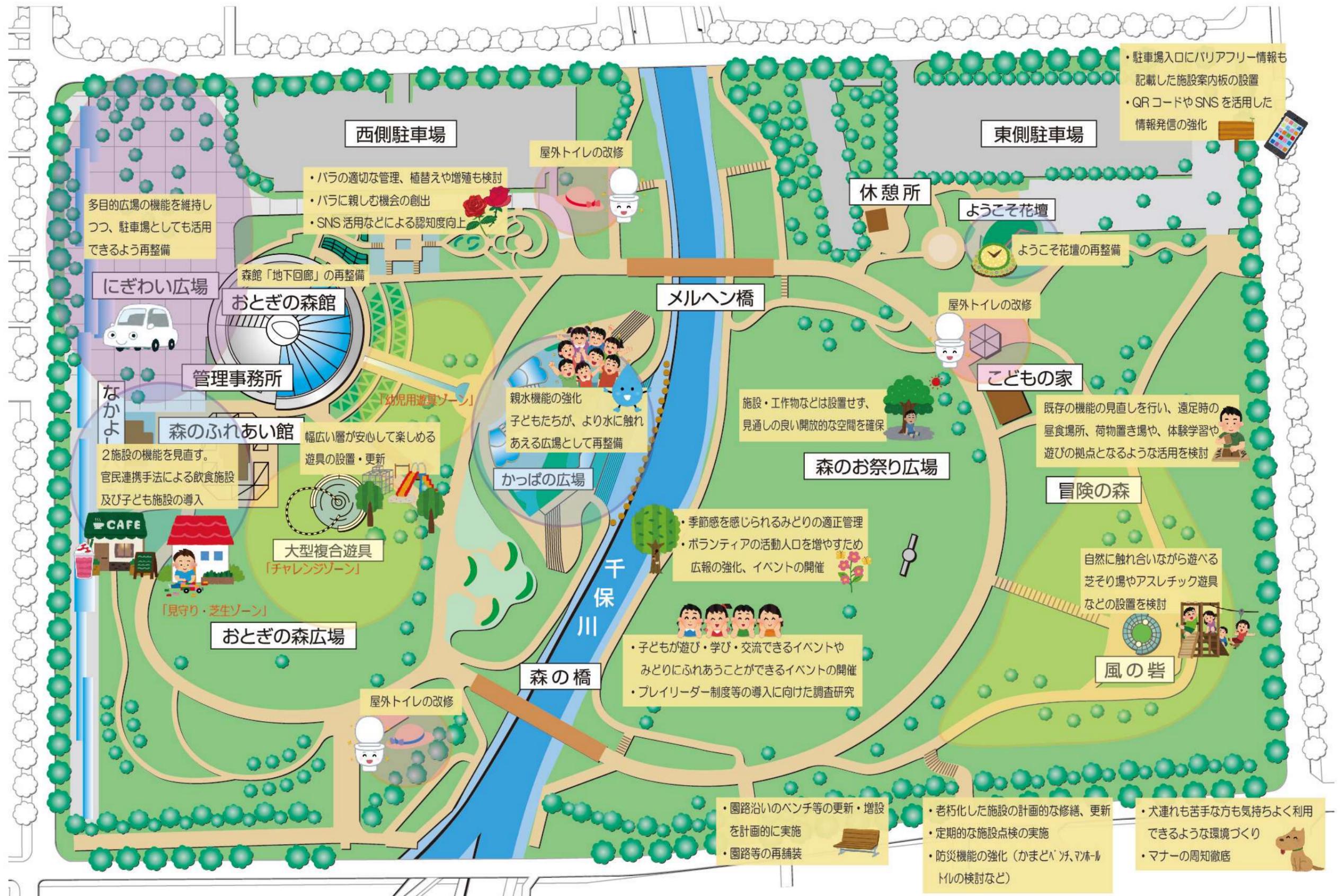
視点③ 今ある機能の改善等を図ること										
課題	取り組みの考え方	施設名 (又はエリア)	具体的な取り組み	実施時期	整備・活用 基本方針					
					①	②	③	④	⑤	
老朽化した施設への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園内の施設は、最大26年経過しており、老朽化が進行している。これらの施設については、高岡市公園施設長寿命化計画の健全度診断結果に基づき、順次、計画的に修繕・更新等に取り組む。</li> <li>改修・更新にあたっては、利用者ニーズを踏まえ、機能そのもののあり方や機能の充実などを検討する。</li> </ul>	公園全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>高岡市都市公園施設長寿命化計画に基づき、計画的に施設の維持管理(修繕、更新など)を行う。</li> <li>定期的に健全度調査を行い、施設の状況を把握する。</li> <li>園路などの舗装の劣化が著しいことから再舗装を行う。</li> </ul>	短～中長期						
		トイレ	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者ニーズに対応するため、屋外トイレの改修を行う。</li> <li>子どもトイレの設置をはじめ、誰もが使いやすい施設とするため、滑りにくく段差の少ない床面仕様や多機能便房なども検討する。</li> </ul>	中長期	●	●	●	●	●	
		おとぎの森館 (地下回廊)	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示の更新がなくマンネリ化及び老朽化が著しいため、再整備を行う。</li> <li>再整備にあたっては、民間のアイデアを募り、より子どもが遊びながら学べる施設とする。</li> </ul>	短期						
駐車場の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>土日の駐車場不足を解消するため、駐車場の充実に取り組む。</li> </ul>	にぎわい広場	現在の多目的広場の機能を確保しつつ、駐車場としても活用できるよう再整備を行う。 (駐車場機能の拡張)	短～中長期	●	●		●	●	

日陰、休憩施設の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園内は見通しが良く開放的である一方で、日陰が少なく、子ども達を見守りながら保護者が休める場所や木陰に座って落ち着いて景色を楽しめる場所を望む意見が多い。</li> <li>これらの利用者ニーズに対応するため、遊具周辺や園路沿いなどにおいて休憩施設の充実に取り組む。</li> </ul>	公園全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>園路沿いの老朽化したベンチやテーブルの更新及び、増設を計画的に実施する。</li> <li>更新や増設にあたっては、主に木陰や遊具周辺などに配置するとともに、災害時にも役立つかまどベンチやスマートベンチなどの設置や、より安心で快適な空間づくりなどに配慮した抗ウイルス、抗菌ベンチなどの設置を検討する。</li> <li>既存の休憩施設の更新などを進めるほか、見通しの確保などの観点から設置数に限界があるため、テントの貸出（有料）などの社会実験を実施する。</li> </ul>	短～中長期	●	●			●
情報発信の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園の魅力を多くの方に知ってもらうために、情報（公園自体、施設情報、イベントなど）の発信の強化に取り組む。</li> <li>各エリアの施設情報なども不足しているため、誰もが安全で快適に利用できる環境づくりを意識した施設の利便性の向上に取り組む。</li> </ul>	公園全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の利便性の向上のため、駐車場入口にバリアフリー情報も記載した園内施設案内板を設置する。</li> <li>園内施設にはQRコードを活用した施設情報の提供を行うほか、イベントや花の開花状況などの情報をSNSで発信するなど、情報発信の強化を図る。</li> </ul>	短期	●	●		●	●
犬連れの利用者への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年、本公園でも犬連れの利用者を多く見かけることから、犬連れの利用者と犬が苦手な利用者、両者が気持ちよく利用できる環境づくりに取り組む。</li> </ul>	公園全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>犬の休憩所の設置やリード用のフックの設置など犬連れの方、犬が苦手な方、両者に気持ち良く利用いただくための環境づくりを行う。</li> <li>飼い主に対しては糞の持ち帰りや放し飼い禁止など、基本的なマナー遵守の周知徹底を図る。</li> </ul>	短～中長期					●

**視点④ 新たな機能を追加し魅力の向上を図ること**

課題	取り組みの考え方	施設名 (又はエリア)	具体的な取り組み	実施時期	整備・活用 基本方針				
					①	②	③	④	⑤
カフェなど飲食施設の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者からはカフェなど室内で落ち着いて、子ども達と飲食できる施設を望む意見が多くある。</li> <li>利用者の利便性向上のため、飲食施設の導入に取り組む。</li> </ul>	森のふれあい館及びなかよしハウスを含む、その周辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>森のふれあい館及びなかよしハウスの機能の見直し、更新を行う。更新にあたっては、官民連携手法による飲食施設などの導入を検討する。</li> <li>飲食施設は、店内からおとぎの森公園の四季の景色を望める場所に配置するとともに、親子連れが利用しやすい施設やサービス内容（豊富な子どもメニュー、キッズ・ベビースペース、幼児用トイレなど）となるよう検討する。</li> </ul>	短期	●			●	●
赤ちゃんも遊べる場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>0歳児から遊べる、保護者が安心して遊ばせられる・利用できる場づくり、子育て世代の交流の場となるような環境整備に取り組む。</li> </ul>	森のふれあい館及びなかよしハウスを含む、その周辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>森のふれあい館及びなかよしハウスの機能の見直し、更新を行う。更新にあたっては、官民連携手法による赤ちゃんも遊べる施設などの導入を検討する。</li> </ul>	短期	●			●	●
豊富なイベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑化の拠点としてふさわしい一年を通した緑に関する催しの開催を引き続き、開催する。</li> <li>本公園の基本理念（子どもたちが自然にふれあい遊び・学べる、利用者が交流でき、人とつながれる）を実現するイベントを中心に、利用者が楽しめる多様なイベントの開催を地域住民や民間企業と連携して取り組む。</li> </ul>	公園全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係緑化団体と連携し、春秋の総合展の開催などを行い、みどりにふれあう機会を創出する。</li> <li>主に子ども達が体験したり、学んだり、遊んだりできるイベントや緑に触れ合うことのできるイベントを開催する。また、利用者の憩いや交流につながるイベント等についても、積極的に実施、誘致する。</li> <li>運営側だけでなく、市民、地域団体、民間事業者など多様な主体で開催できるような環境づくりを整える。</li> <li>子ども達がさまざまな遊びを知り、創造的な遊びを見つけるきっかけや仲間づくりのきっかけを創れるようブレイカー制度等の導入に向け、その仕組み等について調査研究を進める。また、利用者が親しみや愛着を持った公園としていくため、再整備時に利用者が参加できるプログラムなどを検討する。</li> </ul>	短～中長期	●	●			●
その他の機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記のほか、荷物置場の確保・Wi-Fi設備、ギャラリー機能の充実など、本公園の魅力向上につながる機能の充実に取り組む。</li> </ul>	公園全体 (こどもの家)	<ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場などの出入り口にAIカメラを設置し、カメラ画像から利用者の実態（入込数、混雑状況、性別、年齢層など）を把握することで、維持管理運営の改善につなげ、利用者のサービス向上を図る。</li> <li>将来的には、更なる利用者へのサービス向上及び治安向上（指定場所への侵入、指定物の盗難の通知）のため、AIカメラの活用による利用者の動線の可視化やライブ配信などの検討も行う。</li> <li>こどもの家は、既存機能の見直しを行い、遠足時の昼食や休憩場所、荷物置き場としてや、屋外での体験学習、遊びの拠点となるような活用を検討する。</li> <li>おとぎの森館の展示物を一カ所に集約して展示できるギャラリースペースを確保する。</li> </ul>	短～中長期	●	●		●	●

◆取り組みイメージ図

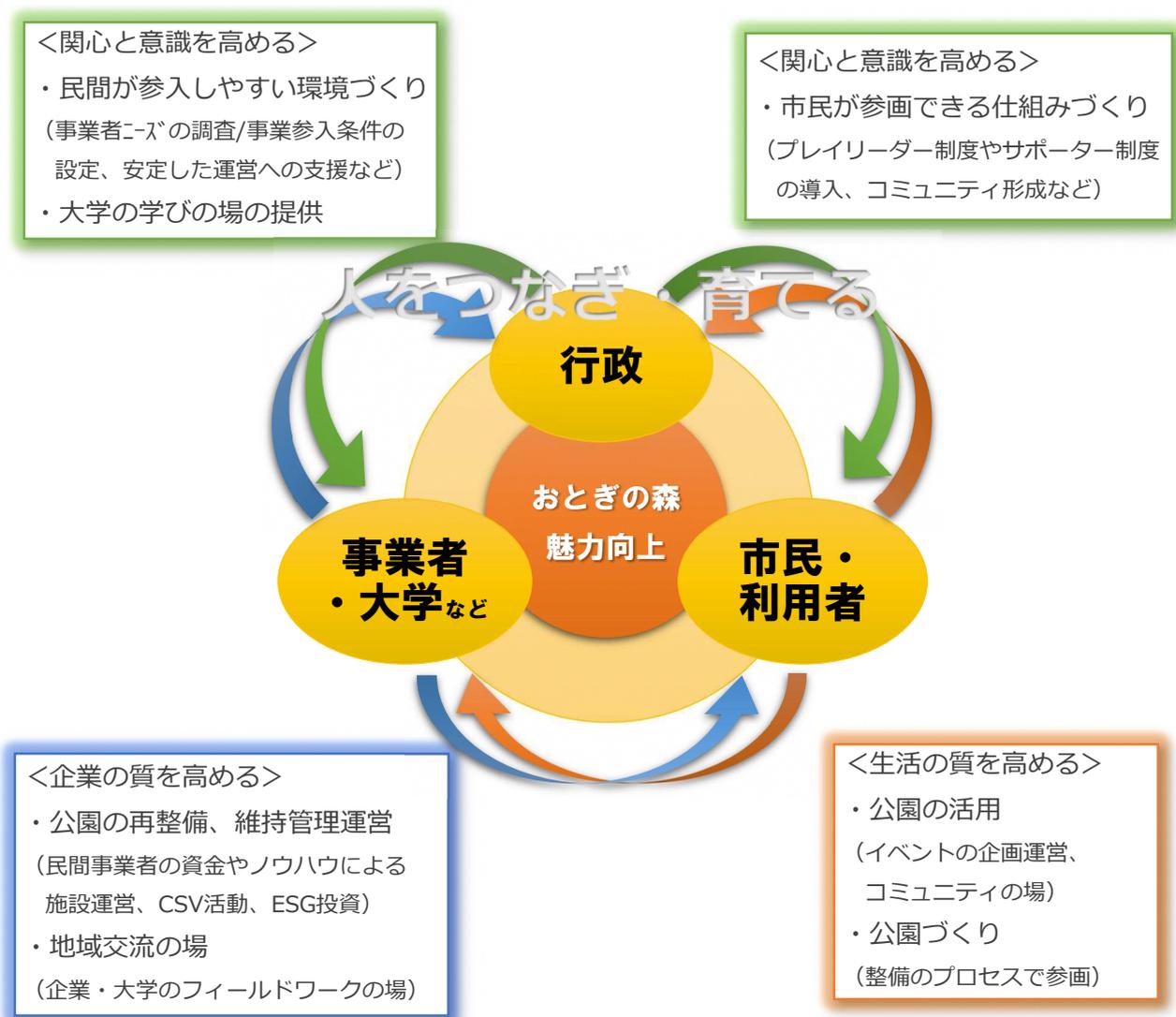


### 3 実現化手法の検討

#### (1) 市民・事業者・行政の役割

人口減少・少子高齢化への対応（子ども政策の強化）、新型コロナウイルス感染症との共存を踏まえたニューノーマルへの対応（時間価値の重要性、ワークライフバランス重視）、市民・事業者の意識の変化（社会貢献活動の活発化、官民連携による社会課題の解決）、デジタル・トランスフォーメーションの進展など、社会経済情勢が変化する中、今後の本公園の整備・維持管理・運営にあたっては、行政だけでなく多様なステークホルダー（利用者・市民・関心を持つ事業者など）と協働・連携し、取り組むことが持続可能な公園づくりにつながる。

この考え方を基本に、前述した取り組みを展開する。



(2) 官民連携事業手法の考え方

本公園における飲食施設などの収益施設の導入にあたっては、官民連携手法による整備・管理運営を目指すものとする。

官民連携手法においては、事業費の回収方法等により、サービス購入型・独立採算型・混合型の3つの事業類型に区分される。本公園で導入する収益施設は、独立採算型を基本として扱うものとする。

■事業分類

<p>サービス購入型</p>	<p>施設の整備及び運営等の費用を公共からのサービス購入料金の支払いのみによって方式。</p> <p>①事業許可 ②公共サービス料の支払い ③サービスの提供</p>
<p>独立採算型</p>	<p>施設の整備及び運営の費用を利用者から収受する利用料金のみによって回収する方式。</p> <p>①事業許可 ②サービスの提供 ③利用料金の支払い</p>
<p>混合型</p>	<p>施設の整備及び運営等の費用を公共からのサービス購入料金の支払い及び利用者から収受する利用料金によって回収する方式。「サービス購入型」と「独立採算型」を混合した方式。</p> <p>①事業許可 ②公共サービス料の支払い ③サービスの提供 ④利用料金の支払い</p>

また、都市公園における官民連携事業手法として、公共施設等の設計、建設・改修、維持管理・運営等を担う方式は次表の種類がある。

このうち、都市公園における PFI 事業は水族館、プール、総合競技場などの大規模施設の建設及び管理運営に活用されるケースが多い。

また、本公園の管理運営は、平成 21 年度から指定管理者制度（現在の指定管理者委託期間：令和 4 年度から令和 8 年度まで）を導入し、民間のノウハウ等を活かしたサービスの提供を実施しており、指定管理者制度による管理運営は、前述の民間施設の導入に関わらず、継続する。このため、大阪市が、大阪城公園や天王寺公園で実施している PMO 型指定管理（※<sup>7</sup>）については、指定管理者制度の公募の時期なども考慮し、現時点においては採用しないものとするが、当該施設の導入実現のための事業者ヒアリングなどによっては、今後の選択肢の一つになる可能性はある。

本公園の官民連携による施設の導入については、まずは設置管理許可制度又は Park-PFI（公募設置管理制度）での検討を進める。なお、設置管理許可制度を活用する場合は

■都市公園に関する設計、建設・改修、維持管理・運営等を担う官民連携手法

事業手法	設置管理許可	Park -PFI Park-PFI+設置管理許可	PFI PFI+設置管理許可	PMO 型指定管理 (※ <sup>7</sup> ) 指定管理+設置管理許可
スキームイメージ図				
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園管理者が民間に公園施設の設置管理を許可する制度</li> <li>設置する施設は、民間が自らの資金で設計、建設、管理運営まで行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園管理者が公募により民間に公園施設の設置管理を許可する制度</li> <li>民間が設置する収益のある公園施設（公募対象施設）と一体的に整備・改修等をする公園施設を設定（特定公園施設）し、民間は公募対象施設からの収益の一部を特定公園施設の整備等に充当</li> <li>公共側で負担する特定公園施設の整備費は一括払いが原則</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PFI法の手続きに則り民間を選定し、民間資金等を利用して公共施設等の整備・維持管理運営を民間が実施するもの。</li> <li>民間に設計、建設、管理運営まで包括的に発注でき、利用者へ直接サービスを提供する。</li> <li>事業費は、公共サービスの購入費及び利用料金収入による。</li> <li>公共側が事業で負担する費用の支払いを平準化できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者に設置管理許可を与え、公園施設の再整備、新規整備や、民間による投資型提案施設の整備・管理の実施を行うもの</li> <li>指定管理者は利用料金による独立採算制で事業を実施</li> <li>公園全体を包括的に管理運営</li> </ul>
資金調達	民間	公募対象施設：民間 特定公園施設：公共	民間	民間
事業期間目安	最長10年（更新可）	10年（20年担保）	10～30年程度	20年以内
民間投資	可能	可能	可能	可能
備考	・小規模な施設設置から可能	・小規模な施設設置から可能 ・都市公園法の特例措置（設置期間、建ぺい率等）	大規模施設に有効	高い収益が見込まれるエリアで可能

※<sup>7</sup>PMO（Park Management Organization）型指定管理は大阪府による公園全体の包括的なマネジメントを行う指定管理者の公募の際の定義で、指定管理者が利用料金を収受して、独立採算による維持管理を実施し、収益施設の投資を条件としたもの。

別途、事業協定などの締結により柔軟な公園の管理運営を検討する。

また、前述のとおり、本公園では既に指定管理制度を導入し、公園全体を民間事業者が管理運営している。このため、新たな民間事業者による公園施設の設置・運営手法を導入する場合、複数の民間事業者が同一公園の維持管理運営に携わることになるため、日常的に本公園に関する情報を相互に共有し、利用者に対して最大限のサービスが提供できるよう、相互に連携、協力するための管理運営体制を構築する。

高岡おとぎの森公園魅力向上計画

令和5年2月 策定

高岡市都市創造部景観みどり課